

令和5年度 第3回総合計画進行管理会議次第

令和5年8月10日(木)午前9時30分
和泉市役所 庁議室

1. 第2回進行管理会議のふりかえり

1)第2回進行管理会議のふりかえり……………資料1

2. 第6次総合計画策定に関する協議会報告について

1)協議会資料(案)……………資料2

3. 第5次和泉総合計画にかかる令和4年度事後評価結果について

1)成果指標一覧……………資料3

2)成果指標達成状況(部別)……………資料4

3)順調に推移している事例の一部……………資料5

4)成果指標一覧(市民アンケート)……………資料6-1

5)成果指標達成状況(市民アンケート)……………資料6-2

6)まとめ……………資料7

4. 外部評価委員会の答申に対する対応方針について

1)和泉市外部評価委員会答申……………資料8

2)和泉市外部評価に対する市の対応方針……………資料9

第2回進行管理会議のふりかえり

○第2回第5次総合計画進行管理会議の内容(議事録参照)

- ・第1回進行管理会議のふりかえり
 - 1)人口ビジョン(改訂版)における推計期間について
- ・次期総合計画の意見交換
 - 1)第6次総合計画・次期和泉創発プランの策定について
 - 2)各機関の役割について
 - 3)第6次総合計画作成に向けた外部意見の聴取について

○意見交換の内容

※別紙1

○第3回会議に向けての宿題

ア)総合計画、次期創発プラン、個別計画の関係性を絵で分かるようにし、各委員と共有する。

⇒ 別紙2

イ)コンサルと学識の役割について整理する。

⇒ 別紙3

第 6 次和泉市総合計画、次期和泉創発プランの策定について

1. 報告の目的

令和 6 年度より「第 6 次総合計画」及び「次期和泉創発プラン」の策定作業に着手を予定しており、策定に先立ち、その考え方について報告を行うもの。

2. 現在の第 5 次和泉市総合計画、和泉創発プランの計画期間

現状、「第 5 次総合計画」の計画期間は令和 7 年度末で、「和泉創発プラン」の計画期間は令和 6 年度末としている。

計画	計画期間	中間見直し
第 5 次和泉市総合計画	平成 28 (2016) 年度～令和 7 (2025) 年度 (10 年計画)	令和 2 年度
和泉創発プラン	令和 2 (2020) 年度～令和 6 (2024) 年度 (5 年計画)	令和 4 年度

3. 策定の考え方

第 6 次総合計画については、大きなまちづくりの方向性など「将来ビジョン」を示す基本構想部分のみの策定とし、構想の実現に向けた具体的の施策などについては、次期和泉創発プランや各種個別計画が担うこととし、第 6 次総合計画では、「重点施策（基本計画）」は策定しないものとする。

昨今においては施策が多様化・複雑化しているだけでなく、DXをはじめ、時代の変化等が短期間で生じることが想定されることから、総合計画にて将来像を見据えつつ、具体の施策については、比較的短い間でその都度整理することが望ましいと考えるもの。

このことを受け、現在の「和泉創発プラン」及びその前任計画である「和泉躍進プラン」の構成については、「まちづくり」、「財政健全化」、「組織・ひとづくり」を含めた行財政計画とし、財政的見地、ひとづくりの見地を含めたまちづくりの方針として策定していることから、将来ビジョンの達成に向けた具体の取組みについては、次期和泉創発プラン、各種個別計画が担う形とする。

【第5次総合計画の構成に基づく、見直しイメージ】

第5次総合計画	基本構想	1	計画の背景	・とりまく時代の潮流 ・市民の意識 ・産業構造の現状等 ・人口推計 ・和泉市が持つ優位性	第6次総合計画
		2	まちづくりの基本方針	・基本的な考え方 ・まちづくりの視点 ・土地利用構想	
		3	将来都市像	・将来都市像 ・まちづくりの目標	
	基本計画	4	重点施策	・定住の促進 ・にぎわいの促進 ・安全・安心の促進 ・支え合い・協働の促進 ・都市経営の促進	次期和泉創発プラン 各種個別計画

4. 計画期間

和泉創発 プラン

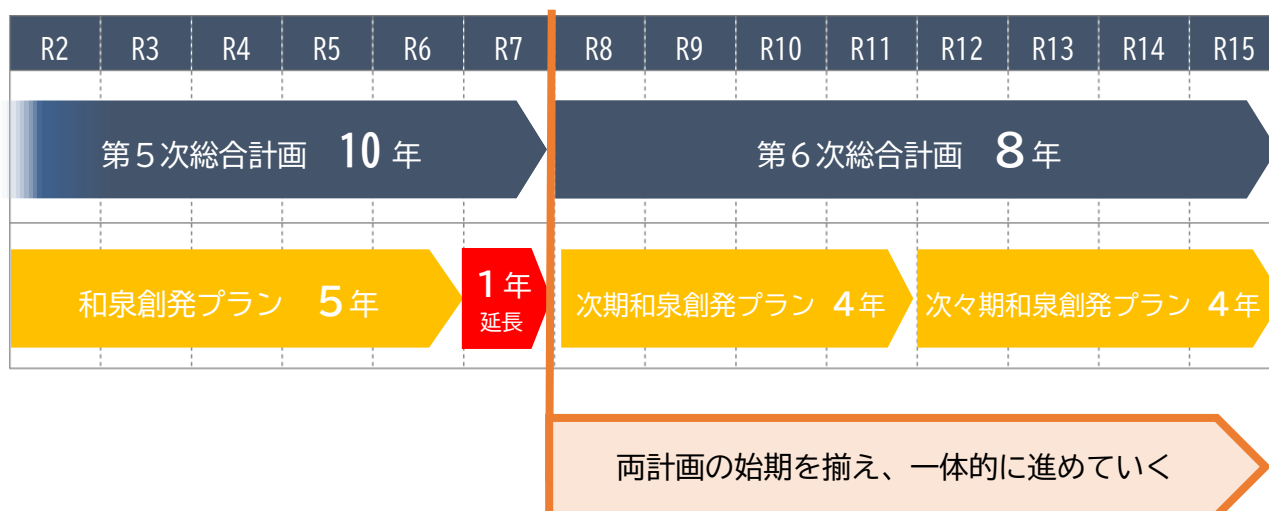
現在の計画期間は5年としているが、
市長公約を盛り込んだうえでまちづくりの取組を記載していることに鑑み、
次期和泉創発プランから、市長任期と合わせた4年とする。
(財政収支計画については、従来どおり毎年度末を起点に10年間分を作成予定)

総合計画

基本計画である次期和泉創発プランと連動させ、8年間とする。
(中間見直しについては必要に応じて検討する)

※次期和泉創発プランと次期総合計画とを連動させるため、双方の始期を合わせることを目的に、
和泉創発プランの計画期間を1年延長し、最終年度を令和7年度とする。
(取組内容は変更せず、計画期間のみを延長する。)

★総合計画、次期和泉創発プランとの計画期間イメージ



5. 人口推計

- 国立社会保障・人口問題研究所（社人研）により令和5年度中に市町村別の人口推計が公表される予定であるため、当該資料を参考に、**令和6年度中に新たな人口推計を整理のうえ、議会への報告を行う予定。**
- 現時点での新たな人口推計のとりまとめ方は、以下のとおり。

	現在の人口ビジョン	新人口推計
策定日	平成27年12月	令和6年度中
推計期間	25年 平成28（2016）年度～令和22（2040）年度	現在調整中
推計条件	上位推計と下位推計の2通りを作成 （上位推計） 令和73年度（2090年）に人口均衡と するために国が示す出生率を使用 令和2年度 出生率 1.6 令和12年度 出生率 1.8 令和22年度 出生率 2.07 （下位推計） 平成25年度の出生率 1.37 が継続 （参考） 令和3年度出生率 1.33	⇒ 現在の上位推計は実態との乖離 が大きい ⇒ 現在の下位推計のように、今 後、出生率が同一値で継続 するとは考え難い。 現状の取組み、これまでの出生率の傾 向等を踏まえた場合に、実際に予測さ れる推計値を1つだけ作成。
目標設定	上位推計の人口となることを目標	予測される推計値を上回ることを目標 に、具体的取組み等を第6次総合計画、 次期和泉創発プランで整理する。

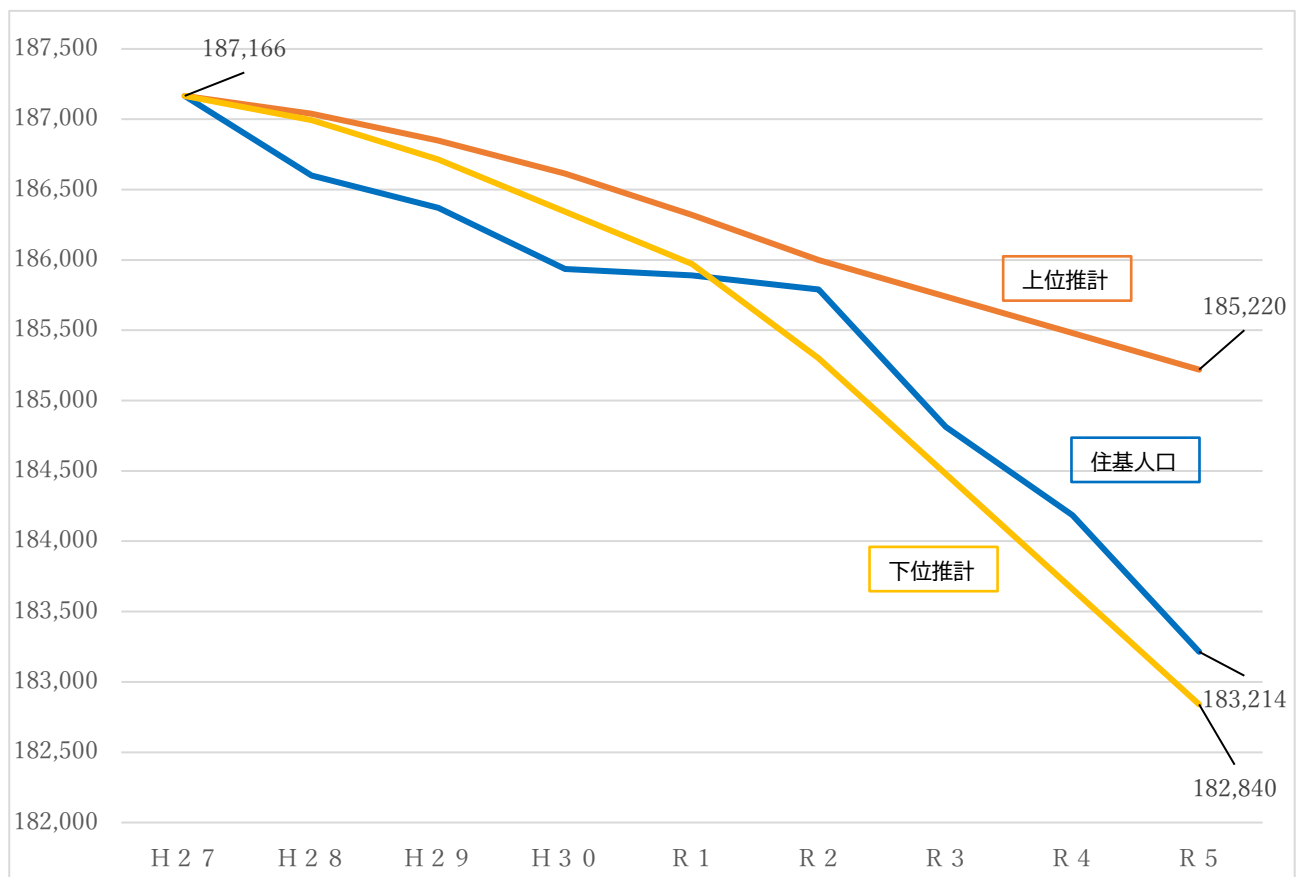
【参考 現人口ビジョンと実際の人口推移】

① 上位推計比較 上位推計からは、下回る結果となっている。

	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
住基人口	187,166	186,601	186,370	185,936	185,890	185,790	184,813	184,185	183,214
上位推計	187,166	187,039	186,849	186,613	186,320	186,000	185,740	185,480	185,220
差引	0	▲ 438	▲ 479	▲ 677	▲ 430	▲ 210	▲ 927	▲ 1,295	▲2,006

② 下位推計比較 当初下位推計より人口減少傾向であったが、現在は、下位推計を上回っている。

	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
住基人口	187,166	186,601	186,370	185,936	185,890	185,790	184,813	184,185	183,214
下位推計	187,166	186,994	186,714	186,343	185,971	185,300	184,480	183,660	182,840
差引	0	▲ 393	▲ 344	▲ 407	▲ 81	490	333	525	374



6. 策定スケジュール

第6次総合計画、次期和泉創発プランとも、同じスケジュールでの策定を計画。
 令和6年度より策定に係る業務委託を締結し、本格的な策定作業に着手。
 取組み状況については、適宜議会報告を行いながら、
 令和7年度末策定（令和8年度スタート）を目標に、
 市民、学識等の意見聴取も行ったうえで案の整理を行い、総合計画審議会での審議を予定。

	令和5年度		令和6年度				令和7年度			
	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3
策定準備	策定準備									
人口ビジョン			R 6 年度中に策定							
策定業務委託			策定がR 7 年度末となるので、委託期間はR 8 までになると想定							
議会報告			適宜、議会報告を実施							
市民・外部意見聴取			市民・学識意見聴取				学識意見聴取			パブコメ
案の整理					R7 上半期中に案の整理					
総合計画審議会での審議									総計審	
策定										策定

※次期和泉創発プランは、総合計画審議会への諮問対象とならないが、
 報告等の手法については、今後検討予定。

第5次和泉市総合計画（改訂版） 成果指標一覧

資料3

				達成率 = $\frac{R3実績 - R2基準値}{R7目標 - R2基準値} \times 100$								達成率 = $\frac{R3実績 - H27基準値}{R7目標 - H27基準値} \times 100$				(100%超の場合は100%、基準値を下回る場合は0%)	
章	節	重点施策	番号	成果指標(KPI)	単位	参考値 (基準値) (H27年度)	参考値 (R元年度)	(基準値) R2年度	R3年度	R4年度	増減率 (前年度比)	目標値 R7年度	達成率 (計画後半) [R3~]	達成率 (計画全体) [H28~]	担当部	担当課	取組事業
1章	1節	「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり	-	合計特殊出生率	-	1.33 (H26年度)	1.27 (H30年度)	1.36 (R元年度)	1.29 (R2年度)	1.33 (R3年度)	94.9%	1.35 (府内平均 (H30年度))	0.0%	0.0%	市長公室	政策企画室	
1章	1節	「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり	-	社会動態(転入者数-転出者数)	人	転出超過	転入超過 (+244)	転出超過	転出超過		-	均衡	-		市長公室	政策企画室	
1章	1節	「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり	-	安心して子育てができる環境が整っていると思う市民の割合	%	41.80	54.7	59.6	64.2	55.9	87.1%	60.0	0.0%	77.5%	市民アンケート	市民アンケート	
1章	1節	01 結婚・出産の希望をかなえる環境づくり	0101	子育て世代移住・定住バスツアーの年間参加組数	人			0	6	5	83.3%	10	50.0%	50.0%	市長公室	広報・協働推進室	移住定住支援事業
1章	1節	01 結婚・出産の希望をかなえる環境づくり	0102	定住施策として実施する補助事業対象者の市内定住率(令和3年度～令和7年度)	%			-	-	100	-	100.0	100.0%	100.0%	市長公室	広報・協働推進室	結婚新生活支援事業
1章	1節	01 結婚・出産の希望をかなえる環境づくり	0103	妊婦健康診査の利用率	%	87.3	90.8	83.9	91.4		108.9%	92.0	0.0%	0.0%	子育て健康部	健康づくり推進室	妊婦健康診査費用公費負担事業
1章	1節	02 子どもたちの健やかな発育の支援	0201	乳幼児健康診査受診率(4か月児、1歳6か月児、3歳6か月児健康診査)	%	93.7	94.5	95.4	96.0	96.5	100.5%	95.0	100.0%	100.0%	子育て健康部	健康づくり推進室	乳幼児健康診査事業
1章	1節	02 子どもたちの健やかな発育の支援	0202	日本脳炎、BCG、麻しん・風しんの接種率	%	86.5	93.6	94.8	77.7	97.3	125.2%	97.0	100.0%	100.0%	子育て健康部	健康づくり推進室	主要予防接種受診率向上事業
1章	1節	02 子どもたちの健やかな発育の支援	0203	こども医療費助成の対象年齢拡大	-	(通院)小学5年生まで (入院)中学3年生まで	(通院)入院 中学3年生まで	(通院)入院 中学3年生まで	(通院)入院 年度末年齢18歳まで	(通院)入院 年度末年齢18歳まで	-	(通院)入院 年度末年齢18歳まで	100.0%	100.0%	子育て健康部	子育て支援室	こども医療費助成事業
1章	1節	02 子どもたちの健やかな発育の支援	0204	保育コンシェルジュ開設日数	日		166	166	224	227	101.3%	243	79.2%	79.2%	子育て健康部	こども未来室	利用者支援事業
1章	1節	02 子どもたちの健やかな発育の支援	0205	年間保健指導数	件	12,496	15,176	15,085	16,128	16,336	101.3%	15,500	100.0%	100.0%	子育て健康部	健康づくり推進室	母子健康教育相談・訪問指導事業
1章	1節	03 きめ細やかな子育てサポート体制の充実	0301	ふたば・第2ふたば幼児教室の待機児童数	人	41	0	0	0	0	-	0	100.0%	100.0%	子育て健康部	子育て支援室	ふたば・第2ふたば幼児教室運営事業
1章	1節	03 きめ細やかな子育てサポート体制の充実	0302	児童虐待等の養育課題が見られる児童のうち状況が安定し支援を終結した児童数	件	252	682	525	569	423	74.3%	450	86.4%	86.4%	子育て健康部	子育て支援室	子育てなんでも相談事業
1章	1節	04 地域で安心して子育てができる仕組みづくり	0401	地域子育て支援事業の1日当たりの利用者数	人	243	287	162	139	140	100.7%	300	0.0%	0.0%	子育て健康部	子育て支援室	地域子育て支援拠点施設事業
1章	1節	04 地域で安心して子育てができる仕組みづくり	0402	地域主催の教育講演会・イベント及び見守り活動等への参加者数	人	10,538	17,329	4,163	4,281	7,667	179.1%	14,000	35.6%	0.0%	教育・こども部	学校教育室	我が町の子どもを育てよう事業 小中一貫教育推進事業
1章	1節	04 地域で安心して子育てができる仕組みづくり	0403	放課後子ども教室の実施校区数	校区	15	21	11	10	11	110.0%	21	0.0%	0.0%	教育・こども部	こども未来室	放課後子ども教室推進事業
1章	1節	05 子育てと仕事の両立支援体制の充実	0501	保育所等利用待機児童数	人	27	72	51	15	16	106.7%	0	68.6%	40.7%	教育・こども部	こども未来室	民間保育所等整備補助事業
1章	1節	05 子育てと仕事の両立支援体制の充実	0502	留守家庭児童会の待機児童数	人	0	0	0	0	0	-	0	100.0%	100.0%	教育・こども部	こども未来室	留守家庭児童会運営事業

第5次和泉市総合計画（改訂版） 成果指標一覧

資料3

				達成率 = $\frac{R3実績 - R2基準値}{R7目標 - R2基準値} \times 100$								達成率 = $\frac{R3実績 - H27基準値}{R7目標 - H27基準値} \times 100$						(100%超の場合は100%、基準値を下回る場合は0%)	
章	節	重点施策	番号	成果指標(KPI)	単位	参考値 (基準値) (H27年度)	参考値 (R元年度)	(基準値) R2年度	R3年度	R4年度	増減率 (前年度比)	目標値 R7年度	達成率 (計画後半) [R3~]	達成率 (計画全体) [H28~]	担当部	担当課	取組事業		
1章	2節	社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実	-	小・中学校における教育環境が整っていると思う市民の割合	%	41.1	52.0	47.1	50.7	47.9	94.5%	55.0	10.1%	48.9%	市民アンケート	市民アンケート			
1章	2節	06 社会の変化に対応できる生きる力を育む人づくり	0601	保育所、認定こども園、幼稚園職員を対象にした研修の参加のべ人数	人	850	1,060	503	461	517	112.1%	1,200	2.0%	0.0%	教育・こども部	こども未来室	保育園・幼稚園等職員研修事業		
1章	2節	06 社会の変化に対応できる生きる力を育む人づくり	0602	全国学力・学習状況調査の結果の平均正答率 対全国比	%	小学校								教育・こども部	学校教育室	学力向上対策事業 いずみ希望塾運営事業(学習支援・居場所づくり事業)			
						0.947	0.980	-	0.950	0.972	102.3%	1.060	91.7%				22.1%		
						中学校								教育・こども部	学校教育室				
						0.970	0.914	-	0.922	0.964	104.6%	1.010	95.4%				0.0%		
1章	2節	06 社会の変化に対応できる生きる力を育む人づくり	0603	年度末学校図書館調査における市の児童生徒一人あたりの年間貸出冊数	冊数	小学校								教育・こども部	学校教育室	小中学校図書館教育推進事業			
						70.1	65.7	54.9	62.6	57.5	91.9%	71.0	16.1%				0.0%		
						中学校													
						16.0	11.7	8.8	7.9	6.7	84.8%	16.5	0.0%				0.0%		
1章	2節	06 社会の変化に対応できる生きる力を育む人づくり	0604			-	-	-	-	-	-	令和7年3月完成	-	-	教育・こども部	学校園管理室	(仮称)榎尾学園整備事業		
1章	2節	06 社会の変化に対応できる生きる力を育む人づくり	0605	全国学力・学習状況調査児童質問紙「授業の内容はよく分かりますか」(小学校:国語・算数、中学校:国語・数学)の肯定的な回答の割合	%	小学校								教育・こども部	学校教育室	教職員人材育成事業			
						79.1	85.6	83.4	84.8	85.2	100.5%	90.0	27.3%				56.0%		
						中学校													
						70.6	74.5	74.2	77.4	76.3	98.6%	80.0	36.2%				60.6%		

第5次和泉市総合計画（改訂版） 成果指標一覧

資料3

						達成率 = (計画後半)		R3実績 - R2基準値		×100				達成率 = (計画全体)		R3実績 - H27基準値		×100		(100%超の場合は100%、基準値を下回る場合は0%)					
章	節	重点施策	番号	成果指標(KPI)	単位	参考値 (基準値) (H27年度)	参考値 (R元年度)	(基準値) R2年度	R3年度	R4年度	増減率 (前年度比)	目標値 R7年度	達成率 (計画後半) [R3~]	達成率 (計画全体) [H28~]	担当部	担当課	取組事業								
1章	2節	06 社会の変化に対応できる 生きる力を育む人づくり	0606	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の 「市内の体力合計点」の平均値 対全国比	%	小5・男								教育・こども部	学校教育室	体力・運動能力向上事業									
						0.95	0.96	-	0.97	0.95	97.9%	1.01	94.1%				0.0%								
					%	小5・女											0.92	0.96	-	0.97	0.96	99.0%	1.01	95.0%	44.4%
						中2・男												0.97	0.98	-	0.98	0.97	99.0%	1.01	96.0%
					中2・女								0.97				0.98		-	0.98	0.98	100.0%	1.01	97.0%	25.0%
1章	2節	06 社会の変化に対応できる 生きる力を育む人づくり	0607	学校給食がおいしいと感じている児童・生徒の割合	%	91	90	91	93	93	100.0%	92	100.0%	100.0%	教育・こども部	学校園管理室	学校給食充実事業								
			0608		/	-	-	-	-	-	-	令和9年3月完成	-	-	教育・こども部	学校園管理室	富秋中学校区施設一体型義務教育学校整備事業								
1章	2節	07 豊かな心を育む教育の推進	0701	自分には、よいところがあると思っている 子どもの割合(全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙調査の肯定的回答に基づく)	%	小学校								教育・こども部	学校教育室	豊かな心の教育推進事業									
						72.8	77.9	74.1	70.3	76.3	108.5%	80.0	37.3%				48.6%								
					%	中学校											55.7	64.2	64.6	67.7	75.2	111.1%	70.0	100.0%	100.0%
1章	2節	07 豊かな心を育む教育の推進	0702	小学校におけるいじめの解消率	%	78	51	65	62	65	104.8%	95	0.0%	0.0%	教育・こども部	学校教育室	スクールカウンセラー派遣事業								
1章	2節	07 豊かな心を育む教育の推進	0703	市内小中学校の不登校児童生徒数の割合	%	小学校								教育・こども部	学校教育室	不登校対策・相談支援事業									
						7.0	6.9	12.7	17.4	22.1	127.0%	5.2	0.0%				0.0%								
					中学校								34.5				37.4	44.9	54.8	60.5	110.4%	30.5	0.0%	0.0%	
1章	2節	07 豊かな心を育む教育の推進	0704	子ども一人当たりの市立図書館児童図書貸出冊数	冊	17	17	12	15	15	100.0%	20	37.5%	0.0%	生涯学習部	生涯学習推進室	子どもの読書活動推進事業								
1章	2節	08 国際社会の中で活躍する 人材の育成	0801	市内全中学校3年生の英検3級程度以上の英語力を有すると思われる生徒の割合	%	/	42.2	47.4	41.1	44.8	109.0%	55.0	0.0%	0.0%	教育・こども部	学校教育室	英語能力検定推進事業								
1章	2節	08 国際社会の中で活躍する 人材の育成	0802	交換学生派遣事業参加者の国際交流事業等参加率	%	/	19	0	13	0	0.0%	60	0.0%	0.0%	生涯学習部	生涯学習推進室	交換学生派遣事業								
1章	2節	08 国際社会の中で活躍する 人材の育成	0803	「日本と世界の子どもの作品展」応募作品数(市内)	点	35	48	79	41	59	143.9%	60	0.0%	96.0%	生涯学習部	生涯学習推進室	日本と世界の子どもの作品展								
1章	2節	08 国際社会の中で活躍する 人材の育成	0804	世界の文化講座(文化バスツアーを含む)における年間受講者数	人	/	50	39	117	63	53.8%	100	39.3%	39.3%	生涯学習部	生涯学習推進室	国際交流事業								

第5次和泉市総合計画（改訂版） 成果指標一覧

資料3

達成率 = $\frac{\text{R3実績} - \text{R2基準値}}{\text{R7目標} - \text{R2基準値}} \times 100$												達成率 = $\frac{\text{R3実績} - \text{H27基準値}}{\text{R7目標} - \text{H27基準値}} \times 100$ (100%超の場合は100%、基準値を下回る場合は0%)					
章	節	重点施策	番号	成果指標(KPI)	単位	参考値 (基準値) (H27年度)	参考値 (R元年度)	(基準値) R2年度	R3年度	R4年度	増減率 (前年度比)	目標値 R7年度	達成率 (計画後半) [R3~]	達成率 (計画全体) [H28~]	担当部	担当課	取組事業
1章	3節	一人ひとりが輝くための生きがいづくり支援	-	和泉市人材データバンクへの登録	人	39	68	68	45	48	106.7%	80	0.0%	22.0%	生涯学習部	生涯学習推進室	
1章	3節	一人ひとりが輝くための生きがいづくり支援	-	生涯学習の機会に親しめる環境が整っていると思う市民の割合	%	33.5	33.1	36.0	37.5	36.2	96.5%	40.0	5.0%	41.5%	市民アンケート	市民アンケート	
1章	3節	一人ひとりが輝くための生きがいづくり支援	-	和泉市の歴史文化に誇りをもっている市民の割合	%	50.9	44.0	48.5	53.9	51.1	94.8%	50.0	100.0%	100.0%	市民アンケート	市民アンケート	
1章	3節	09 知識・経験を生かして地域に貢献する人材の育成	0901	各種生涯学習講座等の年間参加者数(和泉市コミュニティセンター、和泉シティプラザ、和泉市生涯学習サポート館、和泉市立青少年の家)	人	41,485	42,355	16,408	19,630	33,708	171.7%	46,000	58.5%	0.0%	生涯学習部	生涯学習推進室	生涯学習活動促進事業
1章	3節	09 知識・経験を生かして地域に貢献する人材の育成	0902	日本語サロンの在住外国人の受講者参加人数(延べ数)	人		932	275	487	1,303	267.6%	1,200	100.0%	100.0%	生涯学習部	生涯学習推進室	識字施策推進事業
1章	3節	09 知識・経験を生かして地域に貢献する人材の育成	0903	いずみ市民大学における年間受講者数	人		598	270	643	641	99.7%	675	91.6%	91.6%	生涯学習部	生涯学習推進室	いずみ市民大学事業
1章	3節	09 知識・経験を生かして地域に貢献する人材の育成	0904	成人教室の年間修了者数	人	51	37	37	33	45	136.4%	61	33.3%	0.0%	生涯学習部	生涯学習推進室	成人教室事業
1章	3節	09 知識・経験を生かして地域に貢献する人材の育成	0905	図書館年間入館者数	人	1,005,583	877,969	534,762	594,472	640,069	107.7%	869,000	31.5%	31.5%	生涯学習部	生涯学習推進室	図書館管理運営事業
1章	3節	10豊かな創造性と郷土愛を育む文化・芸術の振興	1001	市民文化祭に参加している市民の延べ人数	人	9,550	8,765	0	7,345	9,924	135.1%	10,500	94.5%	39.4%	生涯学習部	生涯学習推進室	市民文化祭事業
1章	3節	10豊かな創造性と郷土愛を育む文化・芸術の振興	1002	いずみの国歴史館、信太の森ふるさと館への年間来訪者数	人	16,419	15,241	2,775	5,283	11,930	225.8%	19,000	56.4%	0.0%	生涯学習部	文化遺産活用課	いずみの国歴史館活性化事業 信太の森ふるさと館活性化事業
1章	3節	10豊かな創造性と郷土愛を育む文化・芸術の振興	1003	久保惣記念美術館の年間来館者数	人	23,161	34,676	7,070	11,024	19,646	178.2%	35,000	45.0%	0.0%	生涯学習部	久保惣記念美術館	研究発表展事業 文化芸術普及促進事業 広報活動事業

第5次和泉市総合計画（改訂版） 成果指標一覧

資料3

達成率 = $\frac{R3実績 - R2基準値}{R7目標 - R2基準値} \times 100$												達成率 = $\frac{R3実績 - H27基準値}{R7目標 - H27基準値} \times 100$				(100%超の場合は100%、基準値を下回る場合は0%)		
章	節	重点施策	番号	成果指標(KPI)	単位	参考値	参考値	(基準値)	R3年度	R4年度	増減率 (前年度比)	目標値 R7年度	達成率 (計画後半) [R3~]	達成率 (計画全体) [H28~]	担当部	担当課	取組事業	
						(基準値) (H27年度)	(R元年度)	R2年度										
1章	4節	健康寿命の延長をめざした健康づくりの推進	-	国民健康保険にかかる医療費の総額に占める生活習慣病にかかる医療費の割合	%	34.4	34.3	33.8	32.4	31.4	96.9%	29.0	50.0%	55.6%	市民生活部	保険年金室		
1章	4節	健康寿命の延長をめざした健康づくりの推進	-	要介護認定を受けていない後期高齢者の割合	%	70.6	67.7	67.1	66.9	68.1	101.8%	70.0	34.5%	34.5%	福祉部	高齢介護室		
1章	4節	健康寿命の延長をめざした健康づくりの推進	-	健康を保持するための環境が整っていると思う市民の割合	%	-	62.4	64.6	69.1	63.7	92.2%	65.0	0.0%	0.0%	市民アンケート	市民アンケート		
1章	4節	11 定期的な健康チェックの推進	1101	がん検診受診率(胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん)	%	20.0	23.2	20.9	22.1	22.1	100.0%	40.0	6.3%	10.5%	子育て健康部	健康づくり推進室	がん検診受診勧奨事業	
1章	4節	11 定期的な健康チェックの推進	1102	前年度のメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)該当者・予備群のうち、当該年度において対象外となった人の割合	%		33.5	27.0	27.7	27.4	98.9%	35.0	5.0%	5.0%	市民生活部	保険年金室	特定健康診査受診勧奨事業 特定保健指導利用促進事業	
1章	4節	11 定期的な健康チェックの推進	1103	「ヘルスアップサポーターいずみ」の年間地域活動回数	人	1,047	2,150	1,244	1,070	1,254	117.2%	3,100	0.5%	10.1%	子育て健康部	健康づくり推進室	ヘルスアップサポーターいずみ養成・活動支援事業	
1章	4節	12 スポーツを通した心身の健康増進	1201	スポーツイベント等の年間参加者数	人	6,308	12,524	182	140	1,882	1,344.3%	14,000	12.3%	0.0%	生涯学習部	生涯学習推進室	スポーツイベント推進事業	
1章	4節	12 スポーツを通した心身の健康増進	1202	スポーツ施設の年間利用者数	人	540,296	520,182	280,893	288,878	462,921	160.2%	578,000	61.3%	0.0%	生涯学習部	生涯学習推進室	体育施設利用促進事業	
1章	4節	12 スポーツを通した心身の健康増進	1203	体育協会の加盟者数	人	10,862	9,818	8,423	8,260	8,260	100.0%	11,000	0.0%	0.0%	生涯学習部	生涯学習推進室	体育協会運営費補助事業	
1章	4節	13 元気に生涯活躍できる環境づくりの推進	1301	住民自主グループによる介護予防体操における年間参加者実人数	人	253	1,703	1,783	1,797	2,018	112.3%	2,400	38.1%	82.2%	福祉部	高齢介護室	地域介護予防活動支援事業	
1章	4節	13 元気に生涯活躍できる環境づくりの推進	1302	認知症予防教室の延べ参加者数(令和3年度～令和7年度)	人	84	435	513	326	300	92.0%	2,100	0.0%	10.7%	福祉部	高齢介護室	認知症予防教室開催事業	
1章	4節	13 元気に生涯活躍できる環境づくりの推進	1303	老人クラブの登録者数	人	14,536	13,097	12,660	12,034	11,507	95.6%	13,100	0.0%	0.0%	福祉部	高齢介護室	老人クラブ加入促進事業	
1章	4節	13 元気に生涯活躍できる環境づくりの推進	1304	高齢者おでかけ支援事業の年間利用率	%		-	40.33	47.47	54.92	115.7%	50.0	100.0%	100.0%	福祉部	高齢介護室	高齢者おでかけ支援事業	

第5次和泉市総合計画（改訂版） 成果指標一覧

資料3

												達成率 = $\frac{R3実績 - R2基準値}{R7目標 - R2基準値} \times 100$			達成率 = $\frac{R3実績 - H27基準値}{R7目標 - H27基準値} \times 100$		
章	節	重点施策	番号	成果指標(KPI)	単位	参考値 (基準値) (H27年度)	参考値 (R元年度)	(基準値) R2年度	R3年度	R4年度	増減率 (前年度比)	目標値 R7年度	達成率 (計画後半) [R3~]	達成率 (計画全体) [H28~]	担当部	担当課	取組事業
1章	5節	外出機会を創出するうるおいのある都市基盤の整備	-	良好なまちなみや快適な住環境づくりが進んでいると思う市民の割合	人	45.4	51.0	55.9	58.0	56.4	97.2%	55.0	0.0%	100.0%	市民アンケート	市民アンケート	
1章	5節	外出機会を創出するうるおいのある都市基盤の整備	-	公園等の緑に接する環境が整っていると思う市民の割合	%	51.5	57.7	60.9	62.9	59.9	95.2%	65.0	0.0%	62.2%	市民アンケート	市民アンケート	
1章	5節	外出機会を創出するうるおいのある都市基盤の整備	-	安全に利用できる道路や交通手段が整備されていると思う市民の割合	%	35.8	33.7	41.0	42.6	37.5	88.0%	40.0	100.0%	40.5%	市民アンケート	市民アンケート	
1章	5節	14 緑のある憩いの場の創出	1401	都市公園の開設面積	ha	144.5	149.6	150.9	151.6	153.0	100.9%	155.2	48.8%	79.4%	都市デザイン部	都市整備室	都市公園整備事業
1章	5節	14 緑のある憩いの場の創出	1402	貴重動植物の数	種類	6	6	6	6	6	100.0%	6	100.0%	100.0%	環境産業部	環境保全課	信太山丘陵市有地貴重動植物モニタリング事業
1章	5節	14 緑のある憩いの場の創出	1403	市民などによる花壇管理面積	m ²	-	-	59.7	59.7	187.9	314.7%	120	100.0%	100.0%	都市デザイン部	都市整備室	いずみどりの共生事業
1章	5節	14 緑のある憩いの場の創出	1404	信太山丘陵里山自然公園の開設面積	ha	-	0.0	0.0	0.0	0.0	-	2.2	0.0%	0.0%	都市デザイン部	都市整備室	信太山丘陵里山自然公園整備事業
1章	5節	15 住み続けたいくなる快適な都市環境の整備	1501	特定経路のバリアフリー化整備率	%	40.0	65.8	68.3	68.3	68.3	100.0%	85.0	0.0%	62.9%	都市デザイン部	都市整備室	道路改良事業
1章	5節	15 住み続けたいくなる快適な都市環境の整備	1502	市内におけるこどもの事故死傷者数	人	-	45	30	46	52	113.0%	27	0.0%	0.0%	都市デザイン部	土木維持管理室	交通安全施設整備事業
1章	5節	15 住み続けたいくなる快適な都市環境の整備	1503	市内における歩行者及び自転車による交通事故発生件数	件	263	209	224	239	229	95.8%	180	0.0%	41.0%	都市デザイン部	都市政策室	交通安全啓発実施事業
1章	5節	15 住み続けたいくなる快適な都市環境の整備	1504	空家解消延べ件数	件	-	9	33	55	72	130.9%	60	100.0%	100.0%	都市デザイン部	建築住宅室	老朽危険空家除却推進事業 空家相談会事業
1章	5節	16 外出を容易にする交通機能の充実	1601	コミュニティバス等年間利用者数	人	124,323	112,178	79,997	84,577	99,585	117.7%	118,100	51.4%	51.4%	都市デザイン部	都市政策室	コミュニティバス等運行事業
1章	6節	環境に配慮した快適なライフスタイルの確立	-	環境にやさしい暮らしを営むことができると思う市民の割合	%	43.9	57.8	60.2	60.9	57.1	93.8%	65.0	0.0%	62.6%	市民アンケート	市民アンケート	
1章	6節	環境に配慮した快適なライフスタイルの確立	-	ごみのリサイクルが進み、衛生的なまちづくりが行われていると思う市民の割合	%	57.2	64.1	62.3	64.7	60.6	93.7%	70.0	0.0%	26.6%	市民アンケート	市民アンケート	
1章	6節	環境に配慮した快適なライフスタイルの確立	-	下水道や浄化槽の整備により、衛生的で快適な暮らしを営むことができると思う市民の割合	%	67.6	59.6	64.0	63.5	63.5	100.0%	65.0	0.0%	0.0%	市民アンケート	市民アンケート	
1章	6節	17 環境負荷の少ない社会システムの構築	1701	太陽光発電設備の導入により削減された二酸化炭素(CO ₂)量	t-CO ₂	16,806	85,004	101,191	118,996		0.0%	190,000	0.0%	0.0%	環境産業部	環境保全課	太陽光発電設備の導入に関する啓発事業
1章	6節	17 環境負荷の少ない社会システムの構築	1702	水洗化率	%	89.7	90.6	90.6	90.6	90.7	100.1%	90.9	33.3%	83.3%	上下水道部	お客さまサービス課	水洗化啓発事業
1章	6節	18 ごみの減量化と再資源化の推進	1801	市民1人当たりの年間ごみ排出量	kg	292.0	282.4	279.6	278.1	272.9	98.1%	260.7	35.4%	61.0%	環境産業部	生活環境課	ごみ減量啓発事業

第5次和泉市総合計画（改訂版） 成果指標一覧

資料3

達成率 = $\frac{R3実績 - R2基準値}{R7目標 - R2基準値} \times 100$											達成率 = $\frac{R3実績 - H27基準値}{R7目標 - H27基準値} \times 100$				(100%超の場合は100%、基準値を下回る場合は0%)		
章	節	重点施策	番号	成果指標(KPI)	単位	参考値	参考値	(基準値)	R3年度	R4年度	増減率 (前年度比)	目標値 R7年度	達成率 (計画後半) [R3～]	達成率 (計画全体) [H28～]	担当部	担当課	取組事業
						(H27年度)	(R元年度)	(基準値) R2年度									
2章	1節	活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出	-	「新たに事業化された商品・技術の延べ件数」及び「研究開発に関する国等の補助金延べ採択件数」の合計件数 (令和3年度～令和7年度)	件	-	-	1	0	0	0.0%	10	0.0%	0.0%	環境産業部	産業振興室	
2章	1節	活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出	-	商店街組合への延べ新規加入件数(令和3年度～令和7年度)	件	-	-	3	4	4	100.0%	20	5.9%	5.9%	環境産業部	産業振興室	
2章	1節	活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出	-	次世代人材投資事業給付金の年間受給者数	人	-	4	4	4	2	50.0%	5	0.0%	0.0%	環境産業部	産業振興室	
2章	1節	活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出	-	和泉市就職情報フェア、和泉市無料職業紹介における就職者数 (令和3年度～令和7年度)	人	-	-	89	132	185	140.2%	520	22.3%	22.3%	市民生活部	くらしサポート課	
2章	1節	活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出	-	市内の商工業に活力があると感じる市民の割合	%	19.3	25.2	23.2	27.0	25.1	93.0%	30.0	27.9%	54.2%	市民アンケート	市民アンケート	
2章	1節	活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出	-	市内の農林業に活力があると感じる市民の割合	%	16.8	20.3	22.3	23.2	20.6	88.8%	25.0	0.0%	46.3%	市民アンケート	市民アンケート	
2章	1節	19 ものづくり産業の振興	1901	ものづくり技術・商品開発事業補助金を活用した大学等との連携研究の延べ事業件数 (令和3年度～令和7年度)	件	-	-	5	11	17	154.5%	25	60.0%	60.0%	環境産業部	産業振興室	ものづくり技術・商品開発支援事業
2章	1節	19 ものづくり産業の振興	1902	和泉市産業振興プラザにおけるセミナー及び事業者交流会の年間参加人数	人	-	156	0	204	210	102.9%	200	100.0%	100.0%	環境産業部	産業振興室	販促強化支援事業、中小企業総合力アップ支援事業
2章	1節	20 商店街活性化と産業集積による地域の賑わいの創出	2001	創業セミナーの年間受講者数	人	-	97	0	95	128	134.7%	130	98.5%	98.5%	環境産業部	産業振興室	創業支援事業
2章	1節	20 商店街活性化と産業集積による地域の賑わいの創出	2002	商店街内への新規出店者に対する補助金の年間交付件数	件	-	4	3	4	4	100.0%	5	50.0%	50.0%	環境産業部	産業振興室	創業支援事業
2章	1節	20 商店街活性化と産業集積による地域の賑わいの創出	2003	商店街加入店舗数	件	190	341	320	326	306	93.9%	341	0.0%	76.8%	環境産業部	産業振興室	商店街活性化事業
2章	1節	20 商店街活性化と産業集積による地域の賑わいの創出	2004	テクノステージ和泉における企業の立地割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%	100.0	100.0%	100.0%	環境産業部	産業振興室	産業集積促進事業
2章	1節	20 商店街活性化と産業集積による地域の賑わいの創出	2005	トリヴェール和泉西部地区における企業の立地割合	%	95.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%	100.0	100.0%	100.0%	環境産業部	産業振興室	産業集積促進事業
2章	1節	21 産業として成立する農林業の確立	2101	エコ農産物の申請栽培面積	a	-	4,565	4,768	4,898	4,752	97.0%	5,200	0.0%	0.0%	環境産業部	産業振興室	地産地消推進事業
2章	1節	21 産業として成立する農林業の確立	2102	農業関係団体が実施する各種研修会等の受講者数	人	-	115	0	27	15	55.6%	120	12.5%	12.5%	環境産業部	産業振興室	6次産業化促進事業
2章	1節	21 産業として成立する農林業の確立	2103	農業体験交流施設の年間利用者数	人	38,262	31,147	11,609	21,779	34,751	159.6%	43,000	73.7%	0.0%	環境産業部	産業振興室	都市農村交流事業
2章	1節	21 産業として成立する農林業の確立	2104	いずもくの年間搬出量	m	-	0	356	941	618	65.7%	300	100.0%	100.0%	環境産業部	産業振興室	市内産木材ブランド化推進事業
2章	1節	22 安定した雇用の創出と次代の担い手の育成	2201	中小企業振興対策事業補助金(人材育成支援事業)の年間交付件数	件	-	9	5	6	3	50.0%	20	0.0%	0.0%	環境産業部	産業振興室	中小企業振興対策事業
2章	1節	22 安定した雇用の創出と次代の担い手の育成	2202	認定農業者数	人	77	76	76	79	75	94.9%	80	0.0%	0.0%	環境産業部	産業振興室	農業担い手育成事業
2章	1節	22 安定した雇用の創出と次代の担い手の育成	2203	和泉市就職情報フェアの年間面接者数	人	-	45	0	4	48	1,200.0%	50	96.0%	96.0%	市民生活部	くらしサポート課	和泉市就職情報フェア事業
2章	1節	22 安定した雇用の創出と次代の担い手の育成	2204	和泉市無料職業紹介センターにおける年間紹介者数	人	-	220	322	478	410	85.8%	220	100.0%	100.0%	市民生活部	くらしサポート課	和泉市無料職業紹介センター事業
2章	1節	22 安定した雇用の創出と次代の担い手の育成	2205	奨学金返還支援制度を活用した市内企業への就職者数	人	-	8	14	13	17	130.8%	25	27.3%	27.3%	市民生活部	くらしサポート課	和泉市奨学金返還支援事業

第5次和泉市総合計画（改訂版） 成果指標一覧

資料3

達成率 = $\frac{R3実績 - R2基準値}{R7目標 - R2基準値} \times 100$												達成率 = $\frac{R3実績 - H27基準値}{R7目標 - H27基準値} \times 100$					(100%超の場合は100%、基準値を下回る場合は0%)	
章	節	重点施策	番号	成果指標 (KPI)	単位	参考値 (基準値) (H27年度)	参考値 (R元年度)	(基準値) R2年度	R3年度	R4年度	増減率 (前年度比)	目標値 R7年度	達成率 (計画後半) [R3~]	達成率 (計画全体) [H28~]	担当部	担当課	取組事業	
2章	2節	新旧の魅力が融合する観光の振興	-	市内主要15施設への来訪者数	人	1,201,846	1,281,083	924,565	1,015,089	1,268,635	125.0%	1,595,000	51.3%	17.0%	環境産業部	産業振興室		
2章	2節	23 地域資源を活用した観光産業の振興	2301	いずみの国観光おもてなし処の年間来館者数	人	14,451	14,672	11,799	12,134	16,610	136.9%	21,000	52.3%	33.0%	環境産業部	産業振興室	おもてなし処来館促進事業 おもてなし処訪日旅行者来館促進事業	
2章	2節	23 地域資源を活用した観光産業の振興	2302	国史跡池上曽根史跡公園、国史跡和泉黄金塚古墳等への年間来訪者数	人	116,317	72,187	48,770	64,262	118,548	184.5%	125,000	91.5%	25.7%	生涯学習部	文化遺産活用課	史跡公園活性化事業 史跡整備事業	
2章	2節	23 地域資源を活用した観光産業の振興	2303	池上曽根史跡公園及び大阪府弥生博物館来館者数	人	-	105,384	62,281	64,674	133,807	206.9%	113,800	100.0%	100.0%	環境産業部	産業振興室	ヒストリータウン事業	
2章	2節	23 地域資源を活用した観光産業の振興	2304	地域通訳案内士及び市民地域ボランティアガイドの延べ育成数	人	-	-	0	13	33	253.8%	30	100.0%	100.0%	環境産業部	産業振興室	市民地域ボランティアガイド育成事業	
2章	2節	24 新たな魅力づくりとまちのブランド化の促進	2401	宿泊施設の延べ建設数(令和3年度～令和7年度)	件	-	-	1	1	2	200.0%	2	100.0%	100.0%	環境産業部	産業振興室	宿泊施設誘致事業	
2章	2節	24 新たな魅力づくりとまちのブランド化の促進	2402	和泉・久保惣ミュージアムタウンエリア内主要施設への来訪者数	人	-	429,200	415,471	413,007	489,182	118.4%	535,000	61.7%	61.7%	生涯学習部 環境産業部	久保惣記念美術館 産業振興室	和泉・久保惣ミュージアムタウン推進事業	
2章	2節	24 新たな魅力づくりとまちのブランド化の促進	2403	南部リージョンセンター道の駅における農産物等売り上げ額	千円	-	147,000	134,857	149,063	343,723	230.6%	336,000	100.0%	100.0%	環境産業部	産業振興室	道の駅利用促進事業	
3章	1節	住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり	-	総合医療センターにおける救急患者の受入れ率	%	8.5	25.7	23.8	21.4	22.5	105.1%	40.0	0.0%	44.4%	子育て健康部	健康づくり推進室		
3章	1節	住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり	-	高齢者や障がい者が安心して生活できる環境が整っていると思う市民の割合	%	27.9	29.7	31.3	35.9	32.4	90.3%	35.0	29.7%	63.4%	市民アンケート	市民アンケート		
3章	1節	住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり	-	市内における大阪重点犯罪件数及びオートバイ盗・自転車盗件数	件	-	575	379	385	552	143.4%	420	100.0%	100.0%	危機管理部	危機管理課		
3章	1節	25 感染症対策の推進と地域医療の充実	2501	総合医療センター救急患者受入日数	日	-	365	365	365	365	100.0%	365	100.0%	100.0%	子育て健康部	健康づくり推進室	和泉市立総合医療センター救急医療事業	
3章	1節	26 支援を必要とする人への相談支援体制の充実	2601	高齢者見守り協力事業所の登録件数	件	-	-	90	155	172	111.0%	200	74.5%	74.5%	福祉部	高齢介護室	高齢者見守り協力事業所ネットワーク事業	
3章	1節	26 支援を必要とする人への相談支援体制の充実	2602	サービス等利用計画のうち、セルフプラン作成割合	%	-	27.9	30.0	31.0	31.7	102.3%	20.0	100.0%	100.0%	福祉部	障がい福祉課	障がい者地域自立支援協議会等運営事業	
3章	1節	26 支援を必要とする人への相談支援体制の充実	2603	就労訓練事業・就労体験の年間延べ利用者数	人	3	6	2	11	16	145.5%	26	58.3%	56.5%	市民生活部	くらしサポート課	生活困窮者就労訓練・体験事業	
3章	1節	27 安心して生活できる防犯体制の整備	2701	地域見守りの年間活動日数	日	242	243	243	246	247	100.4%	243	100.0%	100.0%	危機管理部	危機管理課	防犯ボランティア活動活性化事業	
3章	1節	27 安心して生活できる防犯体制の整備	2702	防犯教室・防犯啓発の年間活動回数	回	95	105	0	0	0	-	117	0.0%	0.0%	危機管理部	危機管理課	防犯啓発事業	

第5次和泉市総合計画（改訂版） 成果指標一覧

資料3

				達成率 = (計画後半)							R3実績 - R2基準値		×100		達成率 = (計画全体)		R3実績 - H27基準値		×100		(100%超の場合は100%、基準値を下回る場合は0%)	
章	節	重点施策	番号	成果指標(KPI)	単位	参考値 (基準値) (H27年度)	参考値 (R元年度)	(基準値) R2年度	R3年度	R4年度	増減率 (前年度比)	目標値 R7年度	達成率 (計画後半) [R3~]	達成率 (計画全体) [H28~]	担当部	担当課	取組事業					
3章	2節	災害に備える仕組みづくり	-	自主防災組織の設立数	団体	40	75	79	80	85	106.3%	147	8.8%	42.1%	危機管理部	危機管理課						
3章	2節	災害に備える仕組みづくり	-	地震や台風等の災害に対する備えができていていると思う市民の割合	%	18.1	28.6	31.9	36.1	33.9	93.9%	35.0	64.5%	93.5%	市民アンケート	市民アンケート						
3章	2節	28 地域における防災体制の強化	2801	防災訓練の年間実施回数	回	-	26	17	19	32	168.4%	44	55.6%	55.6%	危機管理部	危機管理課	自主防災組織等支援事業					
3章	2節	28 地域における防災体制の強化	2802	支援者が避難行動要支援者名簿を活用して活動を行っている割合	%	0.0	30.2	19.7	27.6	34.7	125.7%	35.0	98.0%	99.1%	福祉部	福祉総務課	避難行動要支援者支援事業					
3章	2節	28 地域における防災体制の強化	2803	外国人市民向け防災講座の年間受講者数	人	-	-	0	0	0	-	30	0.0%	0.0%	危機管理部	危機管理課	外国人市民防災啓発事業					
3章	2節	28 地域における防災体制の強化	2804	地域活動拠点の登録箇所数	箇所	-	-	66	69	86	124.6%	60	100.0%	100.0%	危機管理部	危機管理課	地域活動拠点備蓄支援事業					
3章	2節	28 地域における防災体制の強化	2805	感染症対策物資(マスク)の備蓄数	枚	-	-	38,740	48,500	67,590	139.4%	67,590	100.0%	100.0%	危機管理部	危機管理課	感染症対策物資備蓄事業					
3章	2節	28 地域における防災体制の強化	2806	戸別受信機の設置台数	台	-	169	169	211	220	104.3%	1,044	5.8%	5.8%	危機管理部	危機管理課	防災情報伝達体制整備事業					
3章	2節	28 地域における防災体制の強化	2807	中小企業BCP策定支援事業補助金の年間交付件数	件	-	-	0	5	3	60.0%	5	60.0%	60.0%	環境産業部	産業振興室	中小企業BCP策定支援事業					
3章	2節	29 消防体制の強化	2901	新消防本部庁舎完成	-	-	-	-	-	-	-	消防本部 庁舎完成	-	-	消防本部	総務課	北西部地域公共施設再編成事業					
3章	2節	29 消防体制の強化	2902	消防団員数	人	362	351	352	347	346	99.7%	370	0.0%	0.0%	消防本部	総務課	消防団加入促進事業					
3章	2節	29 消防体制の強化	2903	火災件数(過去5年間の平均値の件数)	件	43	40	36	36	35	97.2%	32	25.0%	72.7%	消防本部	予防課	火災予防事業					
3章	2節	29 消防体制の強化	2904	救命入門コースの年間受講者数	人	127	603	159	242	835	345.0%	1,000	80.4%	81.1%	消防本部	警防課	応急手当普及啓発事業					
3章	2節	30 災害に強い環境づくりの推進	3001	民間建築物の耐震化率	%	83.2	85.9	86.6	87.2	87.9	100.8%	95.0	15.5%	39.8%	都市デザイン部	建築・開発指導室	既存建築物耐震化推進事業					
3章	2節	30 災害に強い環境づくりの推進	3002	耐震管率(耐震管+耐震適合管)	%	38.2	41.7	42.3	43.1	44.0	102.1%	47.2	34.7%	64.4%	上下水道部	水道工務課	水道管耐震化事業					
3章	2節	30 災害に強い環境づくりの推進	3003	雨水管整備面積の割合	%	48.91	49.07	49.09	49.16	49.19	100.1%	49.23	71.4%	87.5%	上下水道部	下水道整備課	雨水管整備事業					
3章	2節	30 災害に強い環境づくりの推進	3004	防災協力農地指定箇所数	箇所	-	3	2	5	5	100.0%	21	15.8%	15.8%	環境産業部	産業振興室	防災農地設置事業					

第5次和泉市総合計画（改訂版） 成果指標一覧

資料3

				達成率 = $\frac{R3実績 - R2基準値}{R7目標 - R2基準値} \times 100$								達成率 = $\frac{R3実績 - H27基準値}{R7目標 - H27基準値} \times 100$				(100%超の場合は100%、基準値を下回る場合は0%)	
章	節	重点施策	番号	成果指標(KPI)	単位	参考値 (基準値) (H27年度)	参考値 (R元年度)	(基準値) R2年度	R3年度	R4年度	増減率 (前年度比)	目標値 R7年度	達成率 (計画後半) [R3~]	達成率 (計画全体) [H28~]	担当部	担当課	取組事業
4章	1節	みんなで取り組む連携・協働のまちづくり	-	町会連合会組織への加入率	%	59.4	55.4	54.0	49.3	47.4	96.1%	58.0	0.0%	0.0%	市長公室	広報・協働推進室	
4章	1節	みんなで取り組む連携・協働のまちづくり	-	町会・自治会や近隣住民と十分にコミュニケーションが取れていると思う市民の割合	%	42.3	44.0	40.2	39.4	39.9	101.3%	50.0	0.0%	0.0%	市民アンケート	市民アンケート	
4章	1節	31 コミュニティの活性化と担い手の育成	3101	市民ラウンドテーブルにおける年間延べ参加人数	人	61	76	0	86	98	114.0%	160	61.3%	37.4%	市長公室	広報・協働推進室	市民ラウンドテーブル実施事業
4章	1節	31 コミュニティの活性化と担い手の育成	3102	市民活動支援制度年間支援団体数	団体	-	37	33	33	32	97.0%	62	0.0%	0.0%	市長公室	広報・協働推進室	市民活動推進支援事業
4章	1節	31 コミュニティの活性化と担い手の育成	3103	ボランティア年間需給調整数	件	180	200	42	46	108	234.8%	290	26.6%	0.0%	市長公室	広報・協働推進室	ボランティア活動支援事業
4章	1節	31 コミュニティの活性化と担い手の育成	3104	空家バンクのマッチング件数	件			1	7	6	85.7%	5	100.0%	100.0%	都市デザイン部	建築住宅室	空家バンク事業
4章	1節	32 地域で地域課題を解決する支えあいの仕組みづくり	3201	和泉市地域福祉総合相談員(CSW)の地域連携活動数	件	208	219	95	110	168	152.7%	220	58.4%	0.0%	福祉部	福祉総務課	和泉市地域福祉総合相談員(CSW)配置促進事業
4章	1節	32 地域で地域課題を解決する支えあいの仕組みづくり	3202	和泉市認知症高齢者等SOSおかえりネットワーク見守り登録者数	人	652	1,085	1,185	1,464	1,563	106.8%	1,500	100.0%	100.0%	福祉部	高齢介護室	SOSおかえりネットワーク事業
4章	1節	32 地域で地域課題を解決する支えあいの仕組みづくり	3203	全国学力・学習状況調査 生徒質問紙「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の肯定的回答の割合	小学校										教育・こども部	学校教育室	いずみあいさつ運動事業
					%	54.7	54.7	43.5	43.9	43.5	99.1%	60.0	0.0%	0.0%			
					%	35.7	39.5	34.2	32.3	31.7	98.1%	40.0	0.0%	0.0%			
4章	1節	32 地域で地域課題を解決する支えあいの仕組みづくり	3204	青少年を非行から守る月間事業に参加している市民の数	人	303	150	0	0	100	皆増	300	33.3%	33.3%	生涯学習部	生涯学習推進室	青少年を非行から守る市民大会開催事業
4章	2節	多様性を認め合う人権尊重のまちづくり	-	人権が尊重されるまちづくりが進んでいると思う市民の割合	%	32.6	29.9	32.7	35.1	34.3	97.7%	35.0	69.6%	70.8%	市民アンケート	市民アンケート	
4章	2節	33 多様性を認め合う人権尊重のまちづくり	3301	手話等講座及びあいさポーター研修の参加者数	人	-	187	486	811	1,227	151.3%	2,500	36.8%	36.8%	福祉部	障がい福祉課	手話等講座実施事業 あいさポーター運動事業
4章	2節	33 多様性を認め合う人権尊重のまちづくり	3302	人権啓発講座等への年間参加者数	人	1,648	1,252	207	428	569	132.9%	1,920	21.1%	0.0%	総務部	人権・男女参画室	人権啓発講座事業
4章	2節	33 多様性を認め合う人権尊重のまちづくり	3303	「モアいずみフォーラム」「男女共同参画週間事業」の定員に対する参加率(平均)	%	106.0	79.5	-	54.0	68.3	126.5%	100.0	68.3%	68.3%	総務部	人権・男女参画室	男女共同参画社会づくりフォーラム事業
4章	2節	33 多様性を認め合う人権尊重のまちづくり	3304	和泉市審議会等への女性委員の参画率	%	32.8	29.2	30.2	31.9	32.3	101.3%	40.0	21.4%	0.0%	総務部	人権・男女参画室	女性委員参画推進事業

第5次和泉市総合計画（改訂版） 成果指標一覧

資料3

達成率 = $\frac{R3実績 - R2基準値}{R7目標 - R2基準値} \times 100$																		達成率 = $\frac{R3実績 - H27基準値}{R7目標 - H27基準値} \times 100$																		(100%超の場合は100%、基準値を下回る場合は0%)																	
章	節	重点施策	番号	成果指標(KPI)	単位	参考値 (基準値) (H27年度)	参考値 (R元年度)	(基準値) R2年度	R3年度	R4年度	増減率 (前年度比)	目標値 R7年度	達成率 (計画後半) [R3~]	達成率 (計画全体) [H28~]	担当部	担当課	取組事業																																				
5章	1節	都市経営の促進		市政の情報を十分に得ることができていると思う市民の割合	%	57.5	41.7	44.9	57.0	49.7	87.2%	45.0	100.0%	100.0%	市民アンケート	市民アンケート																																					
5章	1節	34 既存ストックの適正管理の促進	3401	道路橋の延べ修繕補修橋梁数(令和3年度～令和7年度)	橋	-	-	2	4	4	100.0%	8	33.3%	33.3%	都市デザイン部	土木維持管理室	道路橋長寿命化修繕事業																																				
5章	1節	34 既存ストックの適正管理の促進	3402	道路の延べ舗装修繕補修区間数(令和3年度～令和7年度)	区間	-	-	2	5	7	140.0%	10	62.5%	62.5%	都市デザイン部	土木維持管理室	道路舗装修繕事業																																				
5章	1節	34 既存ストックの適正管理の促進	3403	未利用地の売却率(令和3年度～令和7年度)	%	-	-	▲ 4.8	▲ 40.8	▲ 45.8	-	100.0	0.0%	0.0%	総務部	総務管財室	未利用地解消事業																																				
5章	1節	34 既存ストックの適正管理の促進	3404	市営住宅長寿命化計画に基づく、建替え戸数(令和3年度～令和7年度)	戸	-	0.0	0.0	0.0	0.0	-	346 (170戸に集約)	-	-	都市デザイン部	建築住宅室	市営住宅改修事業																																				
5章	1節	35 市民の信頼にこたえ、都市経営を支える行財政運営	3501	経常収支比率	%	95.3	96.8	96.2	95.8	95.9	100.1%	95.0	25.0%	0.0%	総務部	財政課	経常的経費抑制事業																																				
5章	1節	35 市民の信頼にこたえ、都市経営を支える行財政運営	3502	市税の徴収率	%	96.44	98.20	98.00	98.66	98.69	100.0%	99.14	60.5%	83.3%	総務部	税務室 滞納債権整理回収課	納税催告事業 納付推進事業																																				
5章	1節	35 市民の信頼にこたえ、都市経営を支える行財政運営	3503	新たに資格を取得した延べ職員数	人	0	42	58	71	93	131.0%	100	83.3%	93.0%	市長公室	人事課	職員資格取得推進事業																																				
5章	1節	35 市民の信頼にこたえ、都市経営を支える行財政運営	3504	各種証明書に係る電子申請等の利用率	%	-	-	5	11	22	200.0%	15	100.0%	100.0%	市長公室	政策企画室	DX推進事業																																				
5章	1節	35 市民の信頼にこたえ、都市経営を支える行財政運営	3505	個人情報の訂正・削除件数(請求に基づくもの)	件	0	0	0	0	0	100.0%	0	100.0%	100.0%	総務部	総務管財室	個人情報保護事業																																				
5章	1節	35 市民の信頼にこたえ、都市経営を支える行財政運営	3506	窓口対応の安心感及び満足度	%	84.8	89.0	90.0	97.5	97.8	100.3%	91.0	100.0%	100.0%	市民生活部	市民室	窓口サービス向上事業																																				
5章	1節	35 市民の信頼にこたえ、都市経営を支える行財政運営	3507	いずみメール・和泉市LINE登録者数	人	-	12,193	25,521	86,150	90,608	105.2%	25,000	100.0%	100.0%	市長公室	広報・協働推進室	市政情報発信事業																																				

令和4年度 成果指標達成状況（部別）

資料4

資料の見方

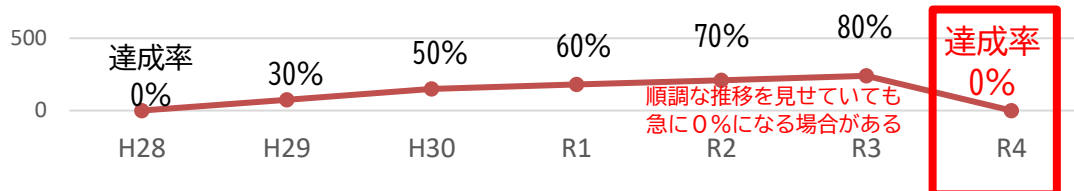
計画後期（R3～R7）の5年間で達成率100%をめざす

- 各指標の達成率は20%ずつ向上することが望ましい（R4年度であれば達成率40%以上）

次の指標は達成率0%として取り扱う

- 実績値（R4）が基準値（R2）と同値または下回っている指標
- 施設の設置や助成対象の拡充など、事業の実施を目標としているものの、実施予定がR5以降のため目標未達成となっている指標
- 概ね基準値の維持を目標としているが、維持できていない指標

順調な指標でも、必ずしも右肩上がりとはならない

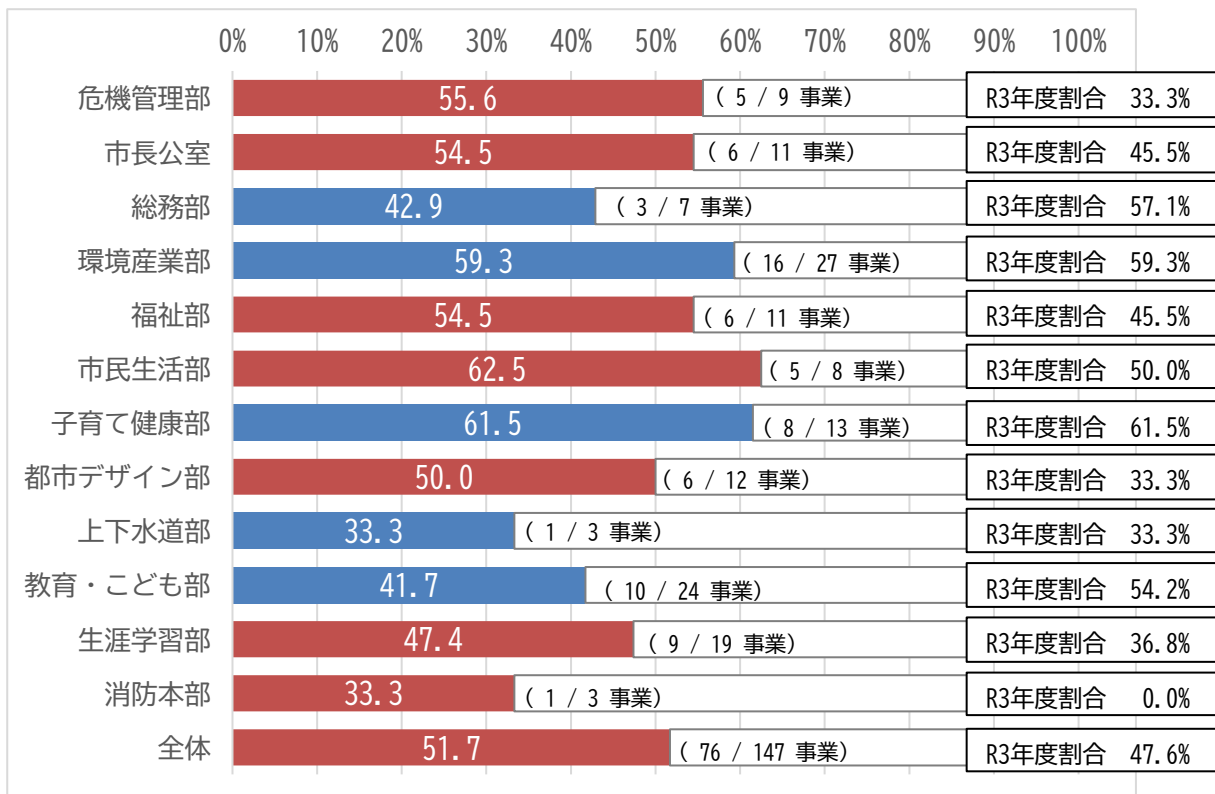


前半（H28～R2）で達成済の指標は除く

- 総合計画の改訂を行い、令和3年度から後期計画が始まっているため、達成済の指標は除く

各部の状況

順調に推移している指標数の割合



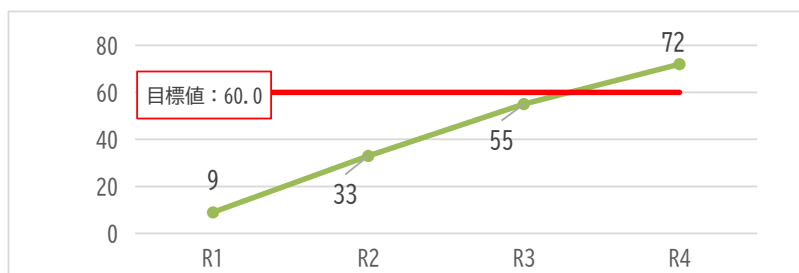
理想としては、全事業が順調な推移をしているべきところ、全体として順調な推移をしている事業は約半数。また、昨年度との比較で、順調に推移している指標数の割合が減少している部もあり、令和7年度末には達成率100%を実現できるよう、これまで以上に各事業に取り組んでいく必要がある。

第1章

1504 空家解消延べ件数

老朽危険空家除却推進事業

目的	良好な住環境の確保のため、老朽危険空家等の除却に対する支援
内容	・除却費用の一部を補助する ・広報・HP・個別相談会等を活用した補助制度の周知



空家解消に向けた所有者の指導にあたり、改善する意思がないものには勧告や命令等を行い、積極的に市が関与し改善に導き、改善の意思があるものには市民相談会や空家バンク、除却補助等、物件に応じた提案を行い、所有者に寄り添った対応を行うことで、空家解消に繋がっていると考えます。また、除却補助制度について市民が利用しやすいように、毎年制度改善を重ね、広報・HP・町会掲示板等で様々な世代に向けて周知を重ねることで空家解消に繋がっている。

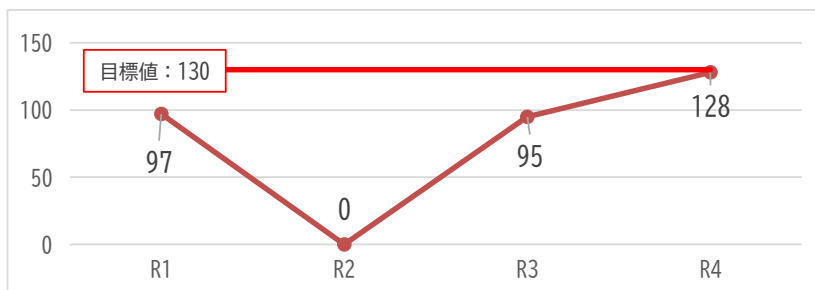
今後も、現状の取り組みを継続しつつ、老朽空家解消だけでなく、老朽化未然防止の観点で所有者に対し意識啓発を行っていく。

第2章

2001 創業セミナーの年間受講者数

創業支援事業

目的	商業の活性化及び創業希望者等の支援
内容	・和泉商工会議所と連携し、創業セミナーの開催 ・広報・HP・SNS等での制度周知



コロナ禍における事業者支援が手厚かったことが市民にも周知されていたこと、令和4年度は緊急事態宣言や蔓延防止等が発出されず経済が回復する兆しが見えたことなどから創業の機運が高まり、受講者数の増加に繋がったと考えられる。

今後もセミナーの内容充実を図り、受講者数の増加に努めていく。

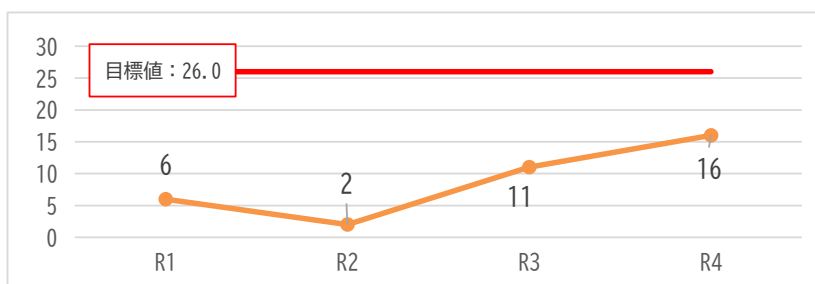
(目標値130人以上の受講申し込みがあったが、当日キャンセルや連絡なく欠席する人が出たため、目標値を下回った)

第3章

2603 就労訓練事業・就労体験の年間延べ利用者数

生活困窮者就労訓練・体験事業

目的	様々な理由により直ちに一般就労が困難な方に対して、意欲や経験等の向上支援
内容	・認定就労訓練事業者による訓練の活用 ・就労体験事業者において職場体験・見学の実施



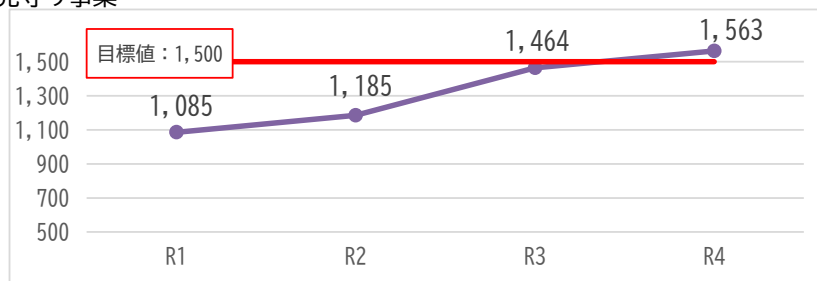
新型コロナウイルス感染症の影響により、体験等の事業所の受入などが困難となり、令和2年度から利用者数が減少していたが、事業所の受入緩和などがあり、令和4年度は、目標値の60%の利用があった。今後、体験事業者の職種拡充などに取組み、利用者増加に努める。

第4章

3202 和泉市認知症高齢者等SOSおかえりネットワーク見守り登録者数

認知症高齢者等SOSおかえりネットワーク見守り事業

目的	メール配信システムでの情報提供による行方不明者の早期発見
内容	・対象者への事前登録の依頼 ・本事業の周知



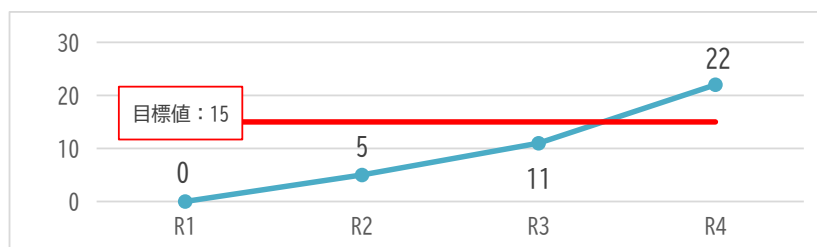
認知症サポーター養成講座など認知症関連事業の機会の活用や和泉市公式LINEでの周知等の取り組みもあり、登録者数が増加したものと考えられます。今後も、地域包括支援センターが地域で行う様々なイベント等で本事業の周知を図り、登録者数の増加を目指します。

第5章

3504 各種証明書に係る電子申請等の利用率

DX推進事業

目的	効果的・効率的な業務遂行を推進し、よりよい行政サービスを提供
内容	・電子申請システムの拡充 ・職員へのタブレット端末支給



コンビニ交付の件数が大幅に増加したことに伴い、電子申請等の利用率が増加したものと考えられます。今後は、市民ニーズの高い子育て・障がい福祉・学校分野を中心に、電子申請が可能な手続きの拡充を行い、利用率の増加を目指します。

■ 指標選定の基準（令和4年度）

・各章から1指標をピックアップ
・後期計画達成率40%、計画全体達成率55%を上回っている指標
・現状維持を目標とする指標は除外

令和4年度 成果指標一覧（市民アンケート）

資料6-1

$$\text{達成率} = \frac{\text{R4実績} - \text{H25基準値}}{\text{R7目標} - \text{H25基準値}} \times 100$$

（100%超の場合は100%、基準値を下回る場合は0%）

（単位：％）

章	節	重点施策	成果指標（K P I）	基準値 (H25)	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	増減率 (前年度比)	目標値	達成率	前年度 達成率	達成率増減 (前年度比)
													R7			
1章	1節	「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり	安心して子育てができる環境が整っていると思う市民の割合	41.8	49.4	53.5	55.2	54.7	59.6	64.2	55.9	87.1%	60.0	77.5%	100.0%	-22.5%
	2節	社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実	小・中学校における教育環境が整っていると思う市民の割合	41.1	42.5	43.5	44.0	47.5	47.1	50.7	47.9	94.5%	55.0	48.9%	69.1%	-20.1%
	3節	一人ひとりが輝くための生きがいづくり支援	生涯学習の機会に親しめる環境が整っていると思う市民の割合	33.5	31.3	33.1	32.8	33.1	36.0	37.5	36.2	96.5%	40.0	41.5%	61.5%	-20.0%
			和泉市の歴史文化に誇りをもっている市民の割合	50.9	47.3	46.3	46.3	44.0	48.5	53.9	51.1	94.8%	50.0	100.0%	100.0%	0.0%
	4節	健康寿命の延長をめざした健康づくりの推進	健康を保持するための環境が整っていると思う市民の割合	-	-	57.5	61.0	62.4	64.6	69.1	63.7	92.2%	65.0	82.7%	100.0%	-17.3%
	5節	外出機会を創出する うるおいのある都市 基盤の整備	良好なまちなみや快適な住環境づくりが進んでいると思う市民の割合	45.4	52.2	52.2	52.4	51.0	55.9	58.0	56.4	97.2%	55.0	100.0%	100.0%	0.0%
			公園等の緑に接する環境が整っていると思う市民の割合	51.5	53.2	57.8	58.9	57.7	60.9	62.9	59.9	95.2%	65.0	62.2%	84.4%	-22.2%
			安全に利用できる道路や交通手段が整備されていると思う市民の割合	35.8	33.7	37.7	39.3	33.7	41.0	42.6	37.5	88.0%	40.0	40.5%	100.0%	-59.5%
	6節	環境に配慮した快適な ライフスタイルの 確立	環境にやさしい暮らしを営むことができると思う市民の割合	43.9	66.6	58.1	59.4	57.8	60.2	60.9	57.1	93.8%	65.0	62.6%	80.6%	-18.0%
			ごみのリサイクルが進み、衛生的なまちづくりが行われていると思う市民の割合	57.2	61.5	62.1	63.0	64.1	62.3	64.7	60.6	93.7%	70.0	26.6%	58.6%	-32.0%
			下水道や浄化槽の整備により、衛生的で快適な暮らしを営むことができると思う市民の割合	67.6	60.3	60.8	62.9	59.6	64.0	63.5	63.5	100.0%	65.0	0.0%	0.0%	0.0%
2章	1節	活力ある地域産業の 実現と地域雇用の創出	市内の商工業に活力があると感じる市民の割合	19.3	18.4	21.0	23.8	25.2	23.2	27.0	25.1	93.0%	30.0	54.2%	72.0%	-17.8%
			市内の農林業に活力があると感じる市民の割合	16.8	18.3	16.6	19.7	20.3	22.3	23.2	20.6	88.8%	25.0	46.3%	78.0%	-31.7%
3章	1節	住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり	高齢者や障がい者が安心して生活できる環境が整っていると思う市民の割合	27.9	23.7	29.3	28.7	29.7	31.3	35.9	32.4	90.3%	35.0	63.4%	100.0%	-36.6%
	2節	災害に備える仕組みづくり	地震や台風等の災害に対する備えができていると思う市民の割合	18.1	27.2	27.0	24.5	28.6	31.9	36.1	33.9	93.9%	35.0	93.5%	100.0%	-6.5%
4章	1節	みんなで取り組む連携・協働のまちづくり	町会・自治会や近隣住民と十分にコミュニケーションが取れていると思う市民の割合	42.3	49.2	46.6	42.4	44.0	40.2	39.4	39.9	101.3%	50.0	0.0%	0.0%	0.0%
	2節	多様性を認め合う人権尊重のまちづくり	人権が尊重されるまちづくりが進んでいると思う市民の割合	32.6	32.8	31.5	30.7	29.9	32.7	35.1	34.3	97.7%	35.0	70.8%	100.0%	-29.2%
5章	1節	都市経営の促進	市政の情報を十分に得ることができると思う市民の割合	57.5	34.9	40.0	43.0	41.7	44.9	57.0	49.7	87.2%	45.0	100.0%	100.0%	0.0%

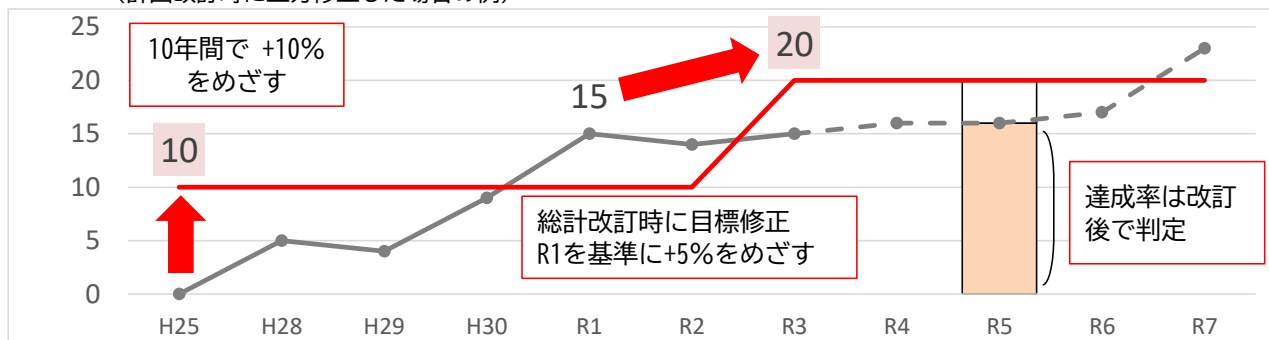
達成率について、前年度達成率との差が大きい項目（1章5節・3章1節）の成果指標を確認

1章5節：9事業あるうち、達成率40%以上の順調な推移をしている指標が5事業あり、うち100%となっている事業が3事業あるが、ほか4事業については0%となっており、低調な事業推移となった影響を受け、アンケート結果についても低調なものとなっていると考えられる。

3章1節：8事業あるうち、達成率40%以上の順調な推移をしている指標が6事業あり、うち100%となっている事業が4事業ある。比較的順調な事業推移のものが多いためアンケート結果は低調なものとなっており、市の取組が市民にうまく伝わっていない可能性も考えられる。

説明 目標設定の考え方

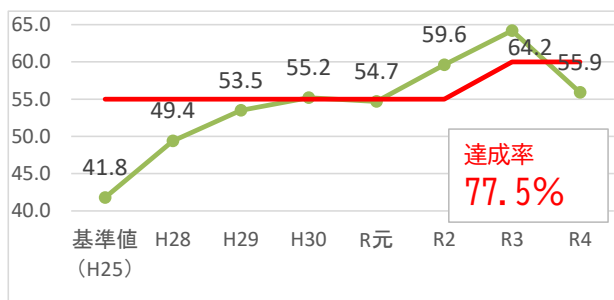
（計画改訂時に上方修正した場合の例）



第1章 定住の促進

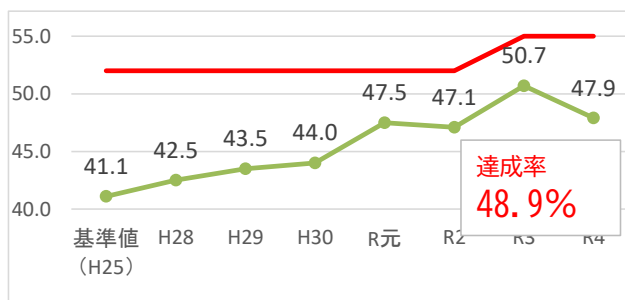
第1節 「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり

安心して子育てができる環境が整っていると思う市民の割合



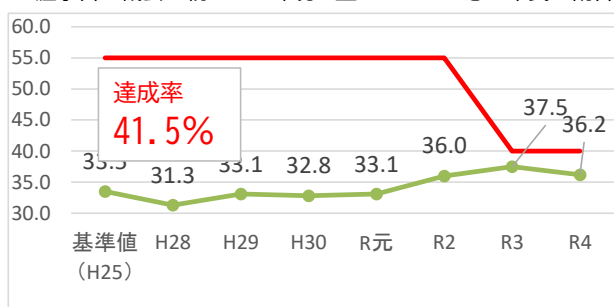
第2節 社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実

小・中学校における教育環境が整っていると思う市民の割合



第3節 一人ひとりが輝くための生きがいづくり支援

生涯学習の機会に親しめる環境が整っていると思う市民の割合

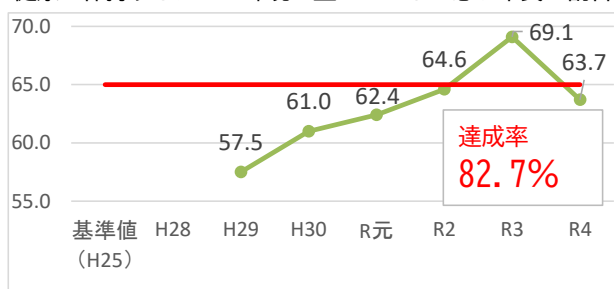


和泉市の歴史文化に誇りをもっている市民の割合



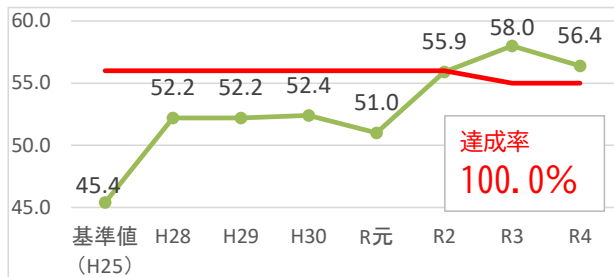
第4節 健康寿命の延長をめざした健康づくりの推進

健康を保持するための環境が整っていると思う市民の割合

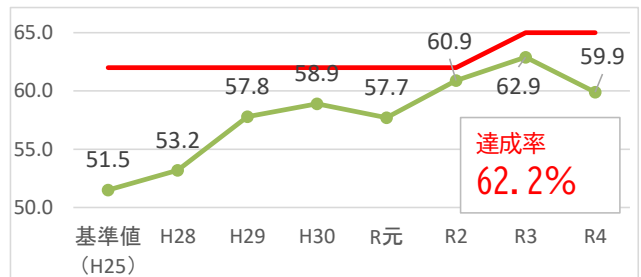


第5節 外出機会を創出するうるおいのある都市基盤の整備

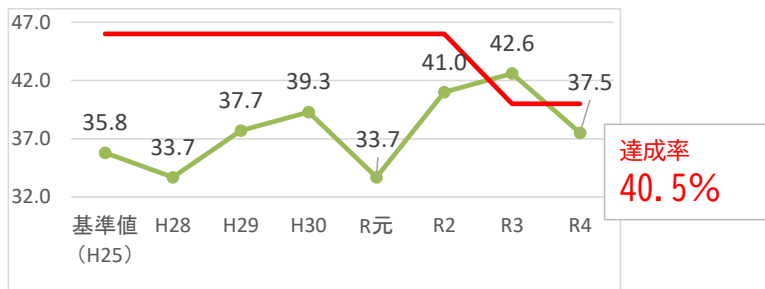
良好なまちなみや快適な住環境づくりが進んでいると思う市民の割合



公園等の緑に接する環境が整っていると思う市民の割合

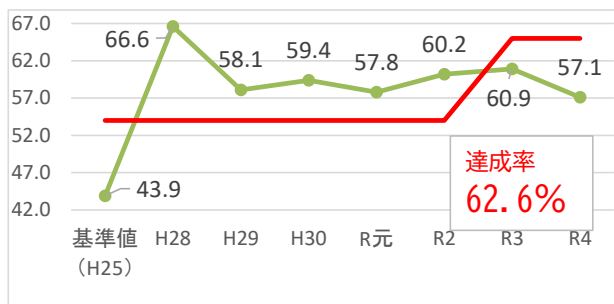


安全に利用できる道路や交通手段が整備されていると思う市民の割合

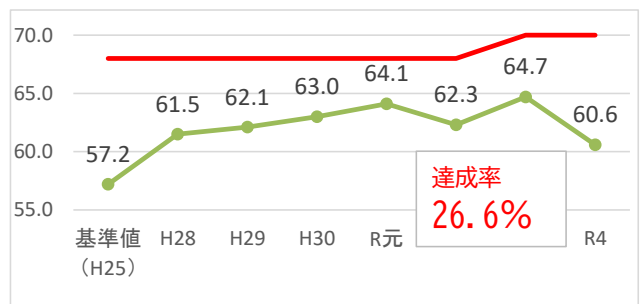


第6節 環境に配慮した快適なライフスタイルの確立

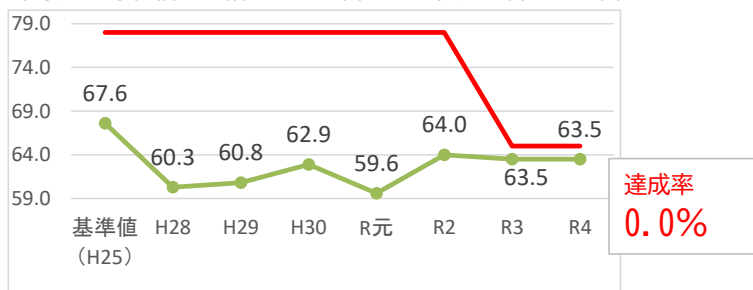
環境にやさしい暮らしを営むことができていると思う市民の割合



ごみのリサイクルが進み、衛生的なまちづくりが行われていると思う市民の割合



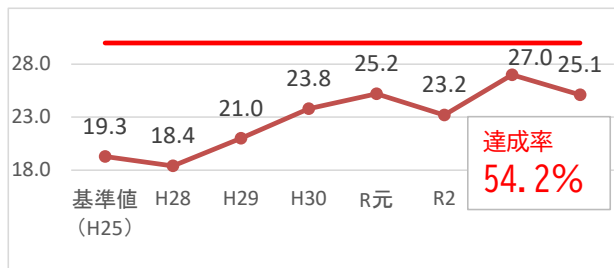
下水道や浄化槽の整備により、衛生的で快適な暮らしを営むことができていると思う市民の割合



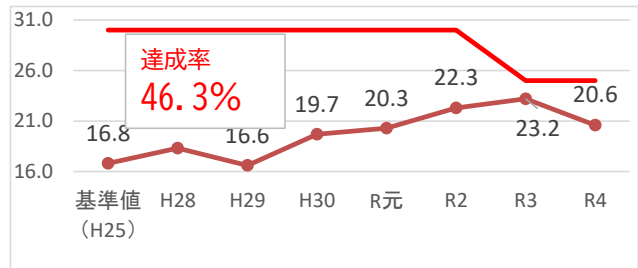
第2章 にぎわいの促進

第1節 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出

市内の商工業に活力があると感じる市民の割合



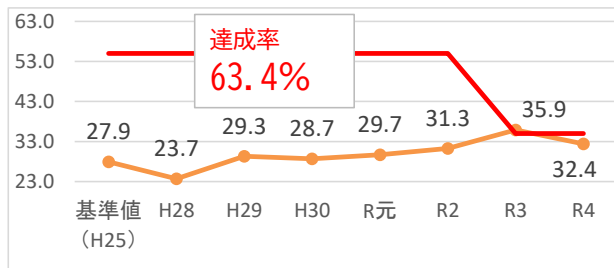
市内の農林業に活力があると感じる市民の割合



第3章 安全・安心の促進

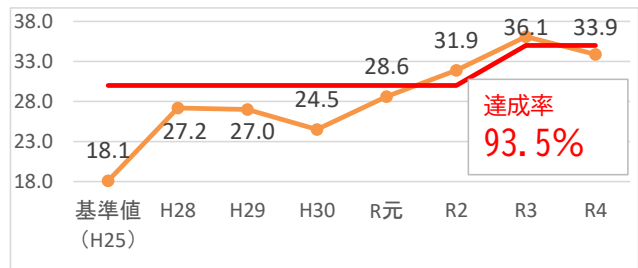
第1節 住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり

高齢者や障がい者が安心して生活できる環境が整っていると思う市民の割合



第2節 災害に備える仕組みづくり

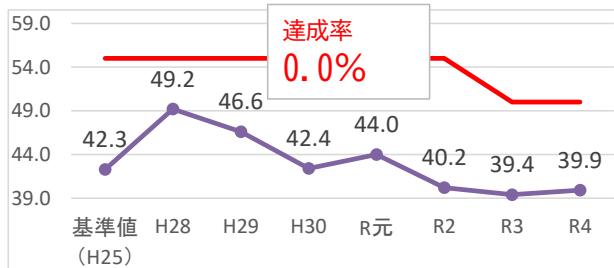
地震や台風等の災害に対する備えができていると思う市民の割合



第4章 支えあい・協働の促進

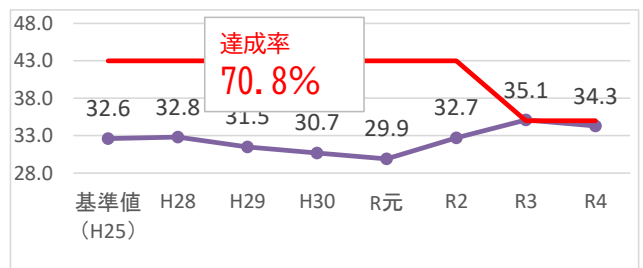
第1節 みんなで取り組む連携・協働のまちづくり

町会・自治会や近隣住民と十分にコミュニケーションが取れていると思う市民の割合



第2節 多様性を認め合う人権尊重のまちづくり

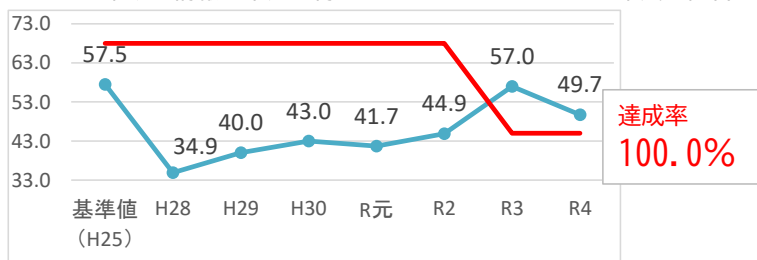
人権が尊重されるまちづくりが進んでいると思う市民の割合



第5章 都市経営の促進

第1節 都市経営の促進

市政の情報を十分に得ることができていると思う市民の割合



KPIの達成状況

達成率が順調に推移しているのは5割程度

市民アンケート

市民の満足度は達成率100%の指標もあるが、昨年度との比較では減少した指標が多い傾向にあり、満足度自体が伸び悩む（50%に満たない）指標も多い

分析

章	分析	
1章（定住） 5章（都市経営）	【市民アンケート】 市民の満足度が概ね50%を超えている 【KPI達成状況】 順調に推移している指標が比較的多い	和泉市の 強み
2章（にぎわい） 3章（安全・安心） 4章（支えあい・協働）	【市民アンケート】 市民の満足度が50%を超える指標がない 【KPI達成状況】 順調に推移している指標が少ない	和泉市の 課題

全体的な傾向としては、上記のとおり令和3年度からの傾向が引き続いてみられ、大きな変化は見られなかった。
第2章について、KPI達成状況は増加したものが多く見られたが、市民満足度については減少傾向となったため、市の努力と市民の評価が一致していない可能性がある。

考察

○KPIの達成状況と市民アンケートの結果は関連しているものが多い

○和泉市の強みを強化するために

- ・ KPI達成率が低調なものについて、課題を把握したうえで取組を行っていくことが必要

○和泉市の課題を克服するために

- ・ KPI達成に向け、令和4年度以上に取組を強化する必要がある
- ・ 市の取組について、市民への周知を強化していくことを検討する

令和5年度
和泉市外部評価委員会 答申

令和5年7月

和泉市外部評価委員会

(和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び和泉市総合
計画に係る事務事業の評価等に関する外部評価委員会)

第1 はじめに

和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び和泉市総合計画に係る事務事業の評価等に関する外部評価委員会は、和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）及び和泉市総合計画に係る事務事業に関して、行政外部の第三者視点からの評価、検証等を行うため設置している。

平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、国と地方が一体となって、地方創生の取組を推進しており、和泉市においても、国交付金を活用し、地方創生に資する事業を令和3年度から実施している。

国交付金を活用した事業については、事業の目標となる指標（重要業績評価指標（KPI※））をあらかじめ定め、事業終了後には事業の効果検証を行うことが求められており、この効果検証について市長から本委員会に諮問を受け、評価を実施した。

この答申は、地方創生関係交付金を活用して実施した事業に関して、委員会が事業担当課との質疑を行い、当該事業の総合戦略への有効性等について判断した評価結果をまとめたものである。

※KPI……Key Performance Indicator の略

第2 評価対象事業

評価対象事業は、次の2つの事業を対象とした。

- ①道の駅いずみ山愛の里施設活性化事業
- ②交流拠点施設を活用したまちの賑わい創出・交流人口拡大事業

第3 評価の方法

事業担当課から提出された事業評価シート及び補足資料並びに委員会での説明に基づき、検証及び評価を行った。

（1）事業の評価項目

次の2つの項目を評価項目とした。

- ①令和4年度における取組に基づくKPIの達成度（実績評価）
- ②令和5年度の取組方針に基づくKPIの達成見込（期待値評価）

（3）事業の評価方法

評価項目①については、事務局にて実績報告を行い、KPIの達成度を委員で確認
評価項目②については、各委員が点数評価を実施

2つの評価点について、100点満点換算を行い、50点以上であれば有効とする。

評価項目① 令和４年度における取組に基づくＫＰＩの達成度（実績評価）

点数	内容
4	令和４年度ＫＰＩ達成率が１００％以上であった場合
3	令和４年度ＫＰＩ達成率が８０％以上１００％未満であった場合
2	令和４年度ＫＰＩ達成率が６０％以上８０％未満であった場合
1	令和４年度ＫＰＩ達成率が６０％未満であった場合

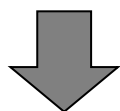
3つのＫＰＩそれぞれに対し、１点～４点で評価 → １２点満点で評価

評価項目② 令和５年度取組方針に基づくＫＰＩの達成見込（期待値評価）

点数	内容
4	令和５年度ＫＰＩ達成率が１００％以上になると期待できる場合
3	令和５年度ＫＰＩ達成率が８０％以上１００％未満になると期待できる場合
2	令和５年度ＫＰＩ達成率が６０％以上８０％未満になると期待できる場合
1	令和５年度ＫＰＩ達成率が６０％未満になると期待できる場合

3つのＫＰＩそれぞれに対し、１点～４点で評価 → １２点満点で評価

（個々の委員の評点を平均）



①+②の点数を１００点満点換算する

$(① + ②) \div 24 \times 100$

③外部評価委員会としての評価結果

合計点	外部組織による効果検証
50以上	取り組んだ内容は、有効であった
50未満	取り組んだ内容は、有効でなかった

第4 評価の結果

令和4年度 地方創生関係交付金事業 評価結果一覧

取組事業名	取組に対する評価
	1 取り組んだ内容は、有効であった 2 取り組んだ内容は、有効でなかった
①道の駅いずみ山愛の里施設活性化事業	1 (有効)
②交流拠点施設を活用したまちの賑わい創出・交流人口拡大事業	1 (有効)

※各取組事業に対する評価の詳細については、次ページ以降の個別評価に記載。

事業名		① 道の駅いずみ山愛の里施設活性化事業			
令和4年度の取組に対する評価					
評価点	100点 / 100点 $((① + ②) \div 24 \times 100)$				
		KPI1	KPI2	KPI3	合計点
	①R4 達成度評価点	4点	4点	4点	12点 (50点)
	②R5 達成期待値評価平均点	4.0点	4.0点	4.0点	12点 (50点)
※ () 内は100点換算結果					
上記の意見・理由	＜令和4年度の達成度評価＞ ○各 KPI 達成率について、KPI1 は 123.4%、KPI2 は 138.4%、KPI3 は 169.0%となり、全項目とも実績値が目標値を大きく超えたため、全項目とも「4点」となった。 ＜令和5年度の達成期待値評価＞ ○全項目とも令和5年度目標値以上の結果となっており、十分に目標値以上の達成が見込めると考え、全項目とも「4点」とした。 ○全項目ともよい結果になっており、ここから下がるようなことはないと考えたため、全項目とも「4点」とした。 ○令和4年度実績値にて令和5年度目標値を達成していることから、全項目とも目標達成可能と判断し、「4点」とした。 ○休日における駐車場の混雑や近隣の競合施設数など気になる点はあるものの、非常によい成果がでている。 ○施設利用者及び出荷者の双方に効果的な取組が成されていると評価できる。				
今後の取組に対するアドバイス					
○情報発信 ・ SNS だけでなく様々な媒体を活用し積極的に情報発信を行われたい。また、道の駅を紹介する情報番組を SNS で紹介し、相乗的な訴求効果が期待できるような取組など情報発信の手法も検討されたい。 ・ 公式Instagramの掲載内容では施設の魅力があまり感じられない。新設の遊具で来訪者が遊ぶ様子を動画で発信するなど魅力的な SNS づくりを検討されたい。 ○施設の整備等 ・ トイレなど他施設と比較して古さが目立つ箇所については設備更新を検討されたい。 ・ 休日など来訪者が多く、駐車場不足により渋滞を引き起こしている。事故防止の観点からも臨時駐車スペースの確保など検討されたい。 ○目標値の設定 ・ 令和5年度の目標値を上回る実績となっていることから、既存 KPI に加えて、現在の売上など実績に応じた目標値を設定し、さらなる施設活性化に取り組まれない。					

○顧客獲得の取組

- 競合施設が多くあるなか、現在の売上や集客維持のためには、新規顧客の獲得やリピーター客の確保が重要であることから、あえて「山愛の里」を選んでもらえるような魅力ある取組を検討されたい。
- 販売品目や販売数など様々なデータを活用し、売れ筋や購買単価を分析することで、継続した集客を図られたい。
- 新商品の開発を今後も積極的に継続されたい。また、オリジナル商品は認知度が低いように感じられるため、積極的な PR も検討されたい。

事業名	② 交流拠点施設を活用したまちの賑わい創出・交流人口拡大事業																		
令和4年度の取組に対する評価																			
評価点	91.7点 / 100点 $((① + ②) \div 24 \times 100)$																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>KPI1</th> <th>KPI2</th> <th>KPI3</th> <th>合計点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①R4 達成度評価点</td> <td>4点</td> <td>4点</td> <td>4点</td> <td>12点(50点)</td> </tr> <tr> <td>②R5 達成期待値評価平均点</td> <td>3.6点</td> <td>3.8点</td> <td>2.6点</td> <td>10点(41.7点)</td> </tr> </tbody> </table> ※ () 内は100点換算結果					KPI1	KPI2	KPI3	合計点	①R4 達成度評価点	4点	4点	4点	12点(50点)	②R5 達成期待値評価平均点	3.6点	3.8点	2.6点	10点(41.7点)
		KPI1	KPI2	KPI3	合計点														
	①R4 達成度評価点	4点	4点	4点	12点(50点)														
②R5 達成期待値評価平均点	3.6点	3.8点	2.6点	10点(41.7点)															
上記の意見・理由 <令和4年度の達成度評価> ○各 KPI 達成率について、KPI1 は 142.2%、KPI2 は 246.0%、KPI3 は 100.0%となり、全項目とも実績値が目標値を大きく超えたため、全項目とも「4点」となった。 ※KPI3 については、令和4年度の目標値が「0」であり達成率の算出ができないため、目標値を上回ったことをもって達成率 100%とした。 <令和5年度の達成期待値評価> ○KPI 1 及び 2 については今後の取組によって達成が見込めると感じたが、KPI 3 については大きな売上は期待できないと感じたため「3点」とした。 ○KPI 1 は目標値の 8 割は見込めると感じ「3点」、KPI 2 は目標値以上の実績になっているため「4点」、KPI 3 は具体的な施策がなく、目標達成が困難と感じ「2点」とした。 ○KPI 1 及び 2 については順調な実績や今後への期待も込めて「4点」、KPI 3 は具体的な施策が弱く、自立自走に向けた今後の取組内容が明確でないと感じたため「2点」とした。 ○KPI 1 は今後の伸びが期待できず「3点」、KPI 2 はリピーターの獲得の可否によるところが大きいと感じ「3点」、KPI 3 は現状以上の収入が見込めないため「2点」とした。 ○KPI 1 はアフターコロナに入り人流も戻ると思われるため「4点」、KPI 2 は実績値から考えて「4点」、KPI 3 は目標を必達していただきたいとの強い思いから、あえて「4点」とした。																			
今後の取組に対するアドバイス																			
○利用者増への取組 ・ 美術館と古民家が相互に紹介できるように、ホームページへのリンク及び散策マップの掲載など情報発信に努められたい。 ・ 両施設には距離があるので、レンタルサイクル等拠点間の移動手段の充実を図られたい。 ○古民家の有効活用 ・ 古民家のカフェは、大学生など若い人達を呼び込む優位性があることから、積極的に PR し、地域活性化へと繋げられたい。 ・ 古民家、道の駅など市内観光施設等でそれぞれの商品を紹介、販売することで市内商業及び地域活性化に繋がると考えることから事業間での連携も検討されたい。																			

○文化芸術振興及び地域活性化の取組

- 美術館のネームバリューや古民家の優位性を最大限に活用し、文化芸術振興を図る取組を検討されたい。
- 市内の隠れた文化芸術分野で活躍されている方々にも参加いただけるような取組を検討し、地域活性化を図っていただきたい。

○目標値の妥当性

- コンソーシアムの自立自走を目指すためには、事業計画の実行性や売上等の KPI 目標値の妥当性について検証されたい。

○体制づくり

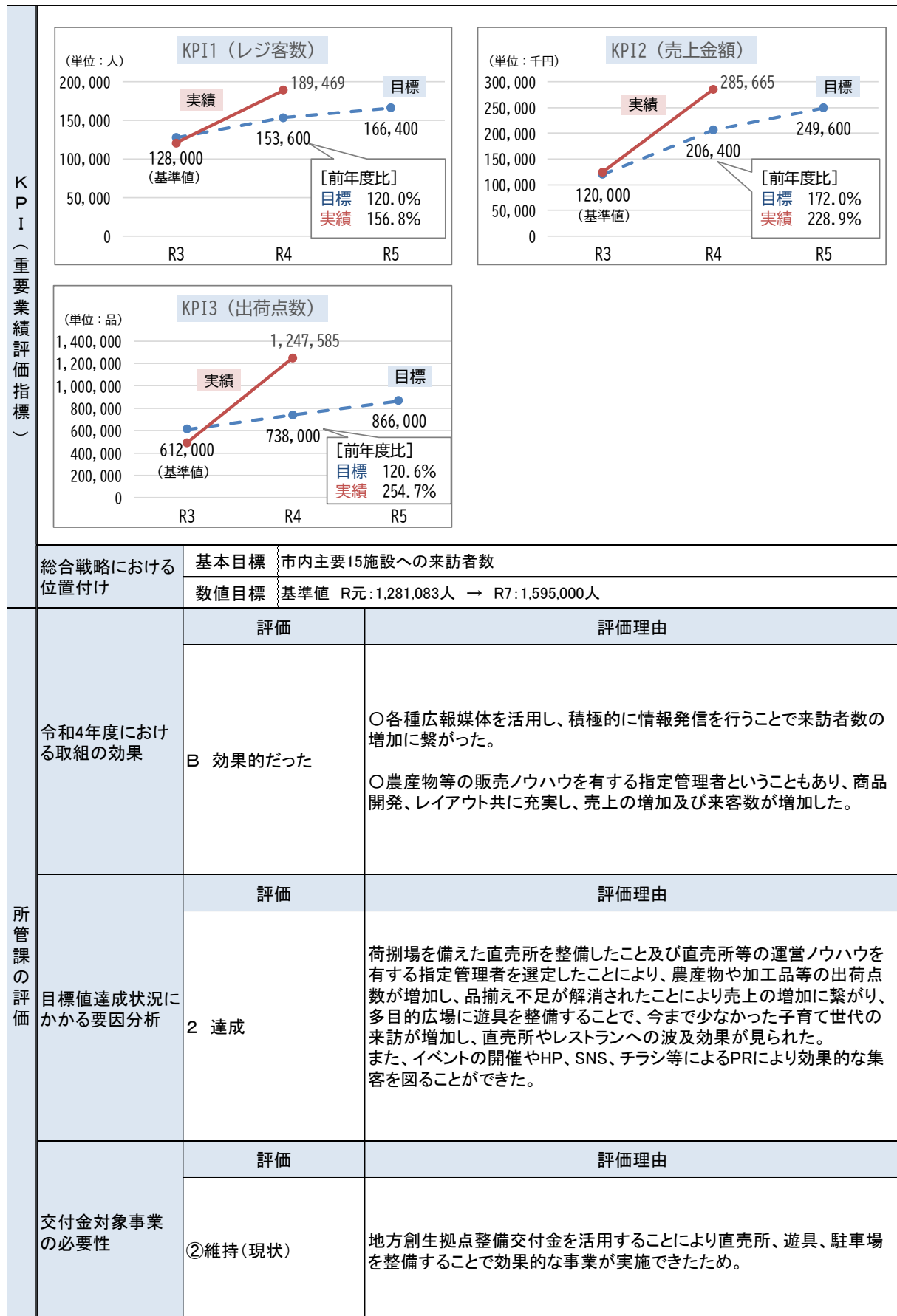
- 古民家について、運営者は収益性確保も必要であることから、地域の芸術振興のために取り組まれる出展者との関係性を維持できるよう、事業継続を意識した施策に取り組まれない。
- 長期的に事業継続するためにも、コンソーシアムの収入確保が必要と思われるので、スポンサーの獲得など様々な方法を検討されたい。

関係資料 1

地方創生関連交付金等事業評価シート

資料4-1-2

事業名	道の駅 いずみ山愛の里施設活性化事業		事業期間	令和3年度					
			所管課	産業振興室					
交付金事業の概要	○「道の駅 いずみ山愛の里」について、市内外から多くの人が集う施設としてリニューアルし、交流人口の増加及び地域の活性化につなげるとともに、観光資源等の情報発信や地場産品の展示販売の機能強化により、観光振興及び農林業振興を図る。								
事業の背景及び目的	○「道の駅 いずみ山愛の里」は、平成20年の開設以降、売上げが平成22年度をピークに減少しており、主な要因としては、次のとおり。 ・荷捌き所がない構造のため、十分な品揃えや出品数が確保できない。 ・周辺に子どもが遊べる施設がなく、購買力が高い子育て世代の利用が少ない。 ・売上減少により出荷者の出荷意欲が低下し、出品数が更に減少する悪循環が生じている。 ・道の駅の運営は、同一敷地内の貸館施設である「南部リージョンセンター」の指定管理者が担っており、農産物直売所の運営に関して十分な実績やノウハウを有していない。 ○道の駅を荷捌き所や遊具を備えた施設としてリニューアルするとともに、農産物等の販売実績及びノウハウを有する指定管理者が運営することにより、来訪者及び地場産品の売上増加をめざす。								
予算 (R3年度)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	決算 (R3年度)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)
	増築工事	188,608,000				増築他工事	169,033,510		
	多目的広場改修工事	34,386,000				多目的広場改修工事	30,369,789		
	駐車場改修工事	22,854,000				駐車場改修工事	24,459,901		
	計	245,848,000				計	223,863,200		
令和4年度の取組	取組①名称：道の駅 いずみ山愛の里の来訪促進事業								
	取組の内容	○道の駅のリニューアルオープンイベントの実施 ○広報いずみの特集(巻頭4ページ)や旬の農産物やスイーツ等のおすすめ情報コーナー(隔月)を連載し、また「和泉しょうが」等のメディアでの周知やInstagram等のSNSを活用した周知・PR活動の実施 ○関西ウォーカーやじゃらんなどの雑誌への掲載 ○道の駅出荷協力会と指定管理者により、四季折々の味覚をPRするためのイベントの実施(計4回)			取組の意図・目的	○施設のリニューアルに関する情報や施設の更なる認知度の向上、また市内の魅力的な農産物等の周知・PR活動を行い施設への来訪者数の増加を図る。			
					取組の実績・成果	○イベントの開催や周知・PR活動により、来訪者数(レジ通過者数)が前年度比1.5倍、約19万人Instagramのフォロワー数が1,200人に増加			
	今後の取組	○遊具を設置したことにより、子ども連れの来訪者が増加していることから、子育て世代が楽しめる事業内容を検討するなど、飽きられないように新たな取り組みを指定管理者と共に実施する。 ○引き続きSNS等を活用した情報発信を行い、旬な情報を提供できるように取り組む。							
	令和4年度の取組	取組②名称：道の駅 いずみ山愛の里の販売促進事業							
取組の内容		○地場産品(玉ねぎ、みかん、ねぎなど)を活かした商品を開発し、いずみ山愛の里にしかないオリジナル商品を充実させる。また日本航空の協力を得て、ご当地看板メニューの開発も行い、市内外から人を呼べる商品を開発した。			取組の意図・目的	○商品開発を積極的に取り組み、道の駅利用者に地場産品をPRすることで、農産物に興味を持ってもらう。 ○手に取りやすい環境を整えることで売上向上を図る。			
		○販売商品の形状や数量に合わせて店内レイアウトを適宜変更し、いずもくを基調とした木のぬくもりを感じれる施設の雰囲気大切にす。			取組の実績・成果	○地場産品を使用した商品(ドレッシング、キムチ、リキュールなど)が開発され、商品の問合せを受けるなどリピーターも獲得できている。 ○商品毎に適したレイアウトに適宜変更する際、いずもくの棚を優先して使用し、木のぬくもりを感じれる施設の雰囲気を維持し、ポップなどで紹介も行ったことから出荷点数や売上金額の増加に繋がり、目標数値を上回ることができた。			
今後の取組		○販売実績を出荷者にフィードバックし、農産物の次期作の参考にもらい、出荷量の増加並びに販売額増加を図る。 ○継続して商品開発に取り組み、施設活性化を図る。							



地方創生関連交付金等事業評価シート

資料4-2-2

事業名	交流拠点施設を活用したまちの賑わい創出・交流人口拡大事業		事業期間	令和3年度 ～ 令和5年度					
			所管課	久保惣記念美術館					
交付金事業の概要	○久保惣記念美術館は、近隣市との差別化を図ることができる本市の重要な資産であり、これまでも、美術品の展示のみならず、各種イベント等を開催することにより、交流人口の増加による市全体の賑わいの創出を図ってきた。 ○本事業では、この取組をさらに発展させ、地域住民とアーティスト等が交流できる交流拠点施設を設置するとともに、WEB交流サイトによって、効率的な情報発信、ビジネスマッチング等を行うことで、継続的な交流人口の増加を目指す。								
事業の背景及び目的	○本事業の前身事業では、「アーティストと地域住民によるパブリックアートの設置」、「地域住民と一体となったアートイベントの開催」等を行い、美術館を中心としたエリアブランド価値を向上させ、交流人口の増加により市全体の賑わいの創出につなげることができた。 ○一方、交流人口の増加がイベントと連動した一過性のものになってしまうなど課題も見られたことから、本事業では人々がアートに親しみ、アーティストやクリエイターが恒常的に活動・活躍できる場をつくり、継続的な交流人口の増加を図る。								
予算 (R4年度)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	決算 (R4年度)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)
	負担金	4,270,000				負担金	4,191,490		
	計 4,270,000					計 4,191,490			
令和4年度の取組	取組①名称：古民家を活用した交流拠点施設								
	取組の内容	○古民家をリノベーションした交流拠点施設で、個展や演奏会、ワークショップ、セミナー等の開催をはじめ、地元食材や資源等を活用したカフェやショップを運営する。			取組の意図・目的	○個展や演奏会、ワークショップ、セミナー等を定期的に開催し、一過性に留まらない文化芸術振興により、継続的な交流人口拡大を図る。			
					取組の実績・成果	○個展や演奏会、ワークショップ、セミナー等の定期的な開催、カフェやショップの運営を通じた文化芸術振興、交流人口拡大を図ることができた。			
	今後の取組	○個展や演奏会、ワークショップ、セミナー等を定期的に開催する。 ○地元食材や資源等を活用した魅力的なカフェやショップを運営する。 ○廃棄素材やフードロス等の素材を活かしたSDGsを意識したモノづくりを行う。							
	取組②名称：商業エリア等を活用した芸術交流拠点の実証事業								
	取組の内容	○商業施設「エコールいずみ」等のイベント広場等のスペースやオアシス(いずみ障がい者ふれあいプラザ)を『商業エリア等を活用した芸術交流拠点』として位置づけ、音楽ライブや作品発表、ワークショップを行う。			取組の意図・目的	○音楽ライブ、アートフェスティバル、作品展示、ワークショップ等が開催できる環境を商業施設「エコールいずみ」等で設け、一過性に留まらない継続的な交流人口拡大を図る。			
取組の実績・成果					○音楽ライブ、浮世絵ワークショップを開催し、文化芸術振興、交流人口拡大を図ることができた。				
今後の取組	○音楽ライブ、作品展示(絵画教室、書道教室、カメラ教室等の団体展示等)を行う。 ○体験教室(水彩画・写真等)、学芸員による作品解説や版画摺り体験等の各種イベント・ワークショップを行う。								

取組③名称：WEB交流拠点運営事業			
取組の内容	OWEBを活用し、壁画アート、自販機アート、アートコンクール等のイベントやワークショップ等の参加者募集及び事業PRを行う。	取組の意図・目的	○ワークショップ等の参加型イベントを通じて、ミュージアムタウンの認知度向上、活動について理解・共感を広める。 ○アーティストやクリエイター等の活動を支援するために、WEB交流サイトで情報発信する。また、自立・自走を目指すための収益化を図る。
	OWEB交流サイトを活用してアーティストやクリエイター等のPR情報やミュージアムタウンの活動について、中小企業診断士等の専門家アドバイザーの支援を受けながら、情報発信を行う。	取組の実績・成果	○壁画アート、自販機アート、アートコンクールやワークショップを開催し、文化芸術振興及び和泉・久保惣ミュージアムタウンの理解・共感を広めることができた。 OWEB交流サイトによるアーティストやクリエイター等の情報発信、壁画アート等のワークショップに係る参加受付、アートコンクールに係るオンライン決済導入で、収益をあげることが出来た。
今後の取組	○アーティストやクリエイター等の情報発信を継続し、活動を支援する。 ○ワークショップ等を開催し、文化芸術振興及びミュージアムタウンの理解・共感を広める。 ○ワークショップ等のイベント参加者を増やすため、参加料の設定を見直し、コンテンツのブラッシュアップも行い魅力的なイベントを開催する。		

KPI（重要業績評価指標）	KPI1（年間来場者数） （単位：人） 0 1,000 2,000 3,000 4,000 0 1,790 2,545 3,080 （基準値） 実績 目標 R3 R4 R5	KPI2（年間利用数） （単位：回） 0 50 100 150 0 50 123 100 （基準値） 実績 目標 R3 R4 R5
	KPI3（コンソーシアムの売上） （単位：円） 0 500,000 1,000,000 1,500,000 2,000,000 0 734,839 1,434,000 （基準値） 実績 目標 R3 R4 R5	
	総合戦略における位置付け	
	基本目標 市内主要15施設への来訪者数 数値目標 基準値 R元:1,281,083人 → R7:1,595,000人	

所 管 課 の 評 価	令和4年度における取組の効果	評価	評価理由
		B 効果的だった	○古民家を活用した交流拠点施設で、個展や演奏会、ワークショップ、セミナー等の開催、カフェやショップ等の運営が継続出来ており、交流人口拡大が認められるため。 ○WEB交流サイトを通じた情報発信、ワークショップ等のイベント受付、オンライン決済導入など、収益化を図るための手法を実践出来たため。
	目標値達成状況にかかる要因分析	評価	評価理由
		2 達成	○古民家を活用した交流拠点施設で、多彩な個展や演奏会、ワークショップ等の積極的な開催やカフェやショップ等の運営により、口コミやSNS等による市内外の認知度向上が認められる。また、来訪者へのヒアリングにより市外からの来訪も一定認められるため。
	交付金対象事業の必要性	評価	評価理由
		②維持(現状)	○目標値達成状況の成果も含め、事業内容について一定の効果が認められるため。

関係資料 2

1 開催経過

回	日 時	内 容
第 1 回	5 月 2 5 日 (木) 午後 2 時	・委員の委嘱、諮問 等 ・評価対象 2 事業の担当課説明、質疑応答及び評価

※答申は、委員長取りまとめの後、各委員が確認。

2 委員名簿（敬称略）

役 職	所 属	氏 名
委員長	桃山学院大学 経営学部 教授	辻本 法子
副委員長	和泉商工会議所 副会頭	中尾 達
委員	池田泉州銀行 和泉支店 支店長	大野 博和
委員	株式会社KADOKAWA デジタルコンテンツ局 事業開発部 WEB コンテンツ第 2 編集部 兼 ウォーカープラス編集部 課長 兼 編集長	山田 孝一
委員	公募市民	多田 安美香

3 和泉市外部評価委員会規則（平成 24 年和泉市規則第 53 号）

（趣旨）

第 1 条 この規則は、和泉市附属機関に関する条例（昭和 32 年和泉市条例第 43 号）第 2 条の規定に基づき、和泉市外部評価委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（委員会の設置）

第 2 条 委員会は、別表に定めるところにより、行政外部の第三者視点からの評価、検証等を行う市の施策又は事業ごとに設置することができる。

（担当事務、組織等）

第 3 条 委員会の名称、担当事務、組織等は、別表に定めるとおりとする。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

（1）学識経験者その他専門的な観点から評価を行う知識経験を有すると市長が認める者

（2）公募による市民

（任期）

第 4 条 委員の任期は、委員の任期は、3 年以内とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠により選任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときはその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集する。ただし、委員長が選任されていない場合その他委員長が招集できない場合は、市長が招集する。

2 委員会は、委員の定数の半数以上の委員が出席しなければ会議を開くことができない。

(関係者の出席)

第7条 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、行政評価担当部署において処理する。

(補則)

第9条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が定める。

別表 (第2条関係)

委員会の名称	担当事務、組織等
和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び和泉市総合計画に係る事務事業の評価等に関する外部評価委員会	(1) 担当事務 和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び和泉市総合計画に係る事務事業の評価、検証等に関すること。 (2) 委員定数 5人以内

4 事務局

市長公室 政策企画室

令和 5 年度 和泉市外部評価に対する市の対応方針

令和 5 年 8 月

令和 5 年度和泉市外部評価委員会(和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び和泉市総合計画に係る事務事業の評価等に関する外部評価委員会)において評価を受け、答申を頂いた内容に対する対応方針は次のとおりとします。

【1】評価対象事業

- (1) 道の駅いずみ山愛の里施設活性化事業
- (2) 交流拠点施設を活用したまちの賑わい創出・交流人口拡大事業

【2】対応方針

- (1) 道の駅いずみ山愛の里施設活性化事業

【担当課：産業振興室】

外部評価委員会の答申	対応方針（案）
○情報発信 SNS だけでなく様々な媒体を活用し積極的に情報発信を行われたい。また、道の駅を紹介する情報番組を SNS で紹介し、相乗的な訴求効果が期待できるような取組など情報発信の手法も検討されたい。	令和 5 年 5 月のおもてなし処との定例会において、本市の観光ホームページである SATOMACHI IZUMI（サトマチイズミ）のトップページにバナーを作成、道の駅の特設ページを設置した上、道の駅の SNS 等にリンクできるように更新を依頼。また、おもてなし処の SNS を活用し、令和 5 年 6 月から定期的に道の駅の情報を取り上げるなど、今後更なる情報発信に取り組みます。 さらに、情報発信強化として道の駅が情報番組等に取り上げられる場合は、市も各種 SNS を活用し情報発信を行います。 また SNS だけではなく、市広報に 2 カ月に 1 度定期的に掲載するなど、さらなる周知をはかっています。

外部評価委員会の答申	対応方針（案）
○情報発信 公式インスタグラムの掲載内容では施設の魅力があまり感じられない。新設の遊具で来訪者が遊ぶ様子を動画で発信するなど魅力的な SNS づくりを検討されたい。	道の駅指定管理者は道の駅の運営 1 年目ということもあり、投稿する素材や技術的においても劣る部分がありましたが、投稿を続けている中で熟練されてきており、最近では動画の配信なども行い、投稿頻度の向上に努めています。また課題のひとつである平日の顧客獲得のため令和 5 年 7 月から「お宝さがし」イベントなど魅力的な事業を随時配信し、おもてなし処との相乗効果によりフォロワー数の増加を目指します。
○施設の整備等 トイレなど他施設と比較して古さが目立つ箇所については設備更新を検討されたい。	トイレについては南部リージョンセンターの所管となることから、昨年度から所管課と情報を共有し、継続的に改修に向けて協議を進めております。
○施設の整備等 休日など来訪者が多く、駐車場不足により渋滞を引き起こしている。事故防止の観点からも臨時駐車スペースの確保など検討されたい。	混雑時には、施設の裏側にあるグラウンドを臨時駐車場として活用し、またイベント等により更に集客が予想される場合は、隣接の仏並土地改良区の一部を関係者駐車場として借用できるように調整を進め、8 月頃に覚書の締結を行う予定です。
○目標値の設定 令和 5 年度の目標値を上回る実績となっていることから、既存 KPI に加えて、現在の売上など実績に応じた目標値を設定し、さらなる施設活性化に取り組まれたい。	昨年度から市と指定管理者の間で、毎月定例会を開催しており、売り上げ向上に向け協議しています。 前年度を上回る目標値の設定については、売り上げ状況を確認しながら指定管理者と協議し設定します。
○顧客獲得の取組 競合施設が多くあるなか、現在の売上や集客維持のためには、新規顧客の獲得やリピーター客の確保が重要であることから、あえて「山愛の里」を選んでもらえるような魅力ある取組を検討されたい。	新規顧客獲得やリピーター客の確保に加えて平日の顧客獲得が課題となっているため、令和 5 年 7 月から「お宝さがし」イベントを開催しております。引き続き魅力ある取り組みを検討し指定管理者と実施します。

外部評価委員会の答申	対応方針（案）
○顧客獲得の取組 販売品目や販売数など様々なデータを活用し、売れ筋や購買単価を分析することで、継続した集客を図られたい。	1年間を通じた販売実績をもとにデータ分析を行い、季節ごとに出荷される品目や出荷量などを把握し、売れ筋商品の出荷量については増加していけるように出荷農家と調整を継続的に行っています。また商品数を増やすとともに令和5年6月にレイアウトの変更を行い、商品棚の増設もおこなっています。引き続き購買意欲を高めるための取組みを行っていきます。
○顧客獲得の取組 新商品の開発を今後も積極的に継続されたい。また、オリジナル商品は認知度が低いように感じられるため、積極的なPRも検討されたい。	市内産農産物を使ったオリジナル商品の開発については継続して指定管理者と進めていきます。また、オリジナル商品のPRについても、令和5年6月からおもてなし処と連携し各種SNSを活用し積極的に周知を図っております。

（２） 交流拠点施設を活用したまちの賑わい創出・交流人口拡大事業

【担当課：久保惣記念美術館】

外部評価委員会の答申	対応方針（案）
○利用者増への取組 美術館と古民家が相互に紹介できるように、ホームページへのリンク及び散策マップの掲載など情報発信に努められたい。	令和5年8月に美術館HPに古民家HPのリンクと散策マップを掲載するとともに、古民家運営者に対して相互リンクと散策マップ掲載を依頼しました。
○利用者増への取組 両施設には距離があるので、レンタルサイクル等拠点間の移動手段の充実を図られたい。	美術館の最寄り駅にある和泉中央駅前北自転車等駐輪場にて、観光レンタルサイクル事業が行われています。令和5年8月に和泉市観光サイト「SATOMACHI IZUMI」で紹介されている「和泉・久保惣ミュージアムタウン～サイクリング向け～」モデルコースに古民家を追加するよう所管課へ依頼しました。また、松尾川沿いの公園や遊歩道は車の通行がなく、安全かつ景観がよいことから、散策マップを活用し、バスで来られた方へ徒歩での散策を美術館、古民家相互でご案内しています。

外部評価委員会の答申	対応方針（案）
○古民家の有効活用 古民家のカフェは、大学生など若い人達を呼び込む優位性があると考えことから、積極的にPRし、地域活性化へと繋がりたい。	ホームページ、Instagram、FBでの積極的な情報発信を継続します。また、観光おもてなし処には和泉市内のイベントや季節の情報を発信している公式LINEアカウントがあり、登録された方が会員となるOSAKA和泉市ファンクラブでは協力店にて会員特典として料金割引など提供しています。この協力店への加入について、令和5年8月に古民家運営者に提案し、大学生など若い人達の呼び込みを図ります。
○古民家の有効活用 古民家、道の駅など市内観光施設等でそれぞれの商品を紹介、販売することで市内商業及び地域活性化に繋がると考えることから事業間での連携も検討されたい。	古民家、道の駅など市内観光施設等との連携が可能かどうか、令和5年8月に古民家運営者に意向確認をします。連携を希望する場合は道の駅などの所管課と協議し進めて参ります。
○文化芸術振興及び地域活性化の取組 美術館のネームバリューや古民家の優位性を最大限に活用し、文化芸術振興を図る取組を検討されたい。	昨年度に引き続き、令和5年12月～令和6年1月にコンソーシアム主催の和泉・久保惣ミュージアムタウンアートコンクールを開催します。令和6年春季に入選作品をコンクール協賛事業者や美術館で掲出するほか、受賞アーティストが古民家にて展覧会ができるよう協議します。
○文化芸術振興及び地域活性化の取組 市内の隠れた文化芸術分野で活躍されている方々にも参加いただけるような取組を検討し、地域活性化を図っていただきたい。	市内の隠れた文化芸術分野で活躍されている方々にも参加いただけるような取組として、昨年度に引き続き、令和5年12月～令和6年1月に和泉・久保惣ミュージアムタウンアートコンクールを開催します。
○目標値の妥当性 コンソーシアムの自立自走を目指すためには、事業計画の実行性や売上等のKPI 目標値の妥当性について検証されたい。	中小企業診断士のアドバイスを受けながら、地方創生推進交付金を活用した事業をするのと並行して、交付金が終了する令和6年度以降の体制や事業について、令和5年6月よりコンソーシアム役員等の意見を収集し、今後の運営について、協議・検討を行っています。

外部評価委員会の答申	対応方針（案）
○体制づくり 古民家について、運営者は収益性確保も必要であることから、地域の芸術振興のために取り組まれる出展者との関係性を維持できるよう、事業継続を意識した施策に取り組まれない。	出展者との関係性を維持できるよう、古民家HPで過去の出展内容についても継続して掲載を行い、記録として振り返れるように対応しています。
○体制づくり 長期的に事業継続するためにも、コンソーシアムの収入確保が必要と思われるので、スポンサーの獲得など様々な方法を検討されたい。	スポンサーの獲得について、自信をもって行えるよう、まずは着実な事業展開による経験・実績を積み上げ、コンソーシアムの認知度向上を図るために、昨年度に引き続き美術館と連携したイベントの実施や広報などの支援を行います。また、令和6年度以降からはコンソーシアムの意向を確認のうえ、認知度・知名度の向上とスポンサー獲得を目的に商工会議所等の団体へのPRをコンソーシアムとともに行っていきます。

人口ビジョンについて

項目	質問・意見	回答
1	人口推計期間を100周年まで（37年間）とせず、社人研が出す期間（26年間）に合わせる理由は。	市独自でつくったものの信憑性を確かめるためと、市制100周年時点の人口推計値によっては、直近で取組むべき施策の方向性にブレが生じる可能性があるため。

第6次総合計画の計画期間について

項目	質問・意見	回答
1	創発プランが4年ごとに改定され、総合計画の基本構想部分に反映されるのであれば内容もそれに合わせて改定されるものと思われるので、トップが変わった場合に変更できるような表現としておくべき。	表現方法については、中間見直しすることを前提とはしないが、見直しできるような表現とします。 協議会資料には、「中間見直しについては必要に応じて検討する」旨で表現。

第6次総合計画の構成等について

項目	質問・意見	回答
1	総合計画と和泉創発プランに重複感があるという記載があるが、重複感だけでは理由が乏しいのでしっかりした理由付けが必要。	協議会資料には、「第6次総合計画については、大きなまちづくりの方向性など「将来ビジョン」を示す基本構想部分のみの策定とし、構想の実現に向けた具体的な施策などについては、次期和泉創発プランや各種個別計画が担うこととし、第6次総合計画では、「重点施策（基本計画）」は策定しないものとする。」旨で表現し、重複感という表現は削除しました。
2	和泉市自治基本条例の中で目標の達成方針を定めることになっているので、次期総合計画にも分かるように入れてほしい。	第6次総合計画にも、「目標達成方針」を記載するようにし、その内容については、今後検討していきます。
3	総合計画、和泉創発プラン、個別計画の関係性を事務局で絵で見れるようにし、各委員と共有してほしい。	別紙2のとおり共有いたします。
4	個別計画は国の示すものに合わせる関係上、計画期間がずれることがあるので、それをどうするか検討してほしい。また、政策企画室だけで進めることは困難であると思うので、各部局長の意見を聞きながら進めてほしい。	各部局長や各課のヒアリングを行いながら策定していきます。
5	基本計画は政策レベルで紐づけしておかないと、基本構想と整合性がつけにくいのではないかな。	基本構想部分と基本計画の個別事業との関係性が分かるような構成とします。
6	市政運営方針の構成について、基本計画を作らなくなるのであればどのような構成とするのか。	総合計画と次期和泉創発プランを紐づけすることで、市政運営方針の構成は、検討していきます。
7	財政の収支見通しを10年とする理由は。	これまで、計画策定時から10年間の収支見通しを整理するのではなく、各決算年度から10年間の収支見通しを整理しており、今後も、先を見越した行財政運営を行うべく、総合計画の計画期間は8年となりますが、収支見通しについては、引き続き各決算年度から10年分を作成しようとするものです。

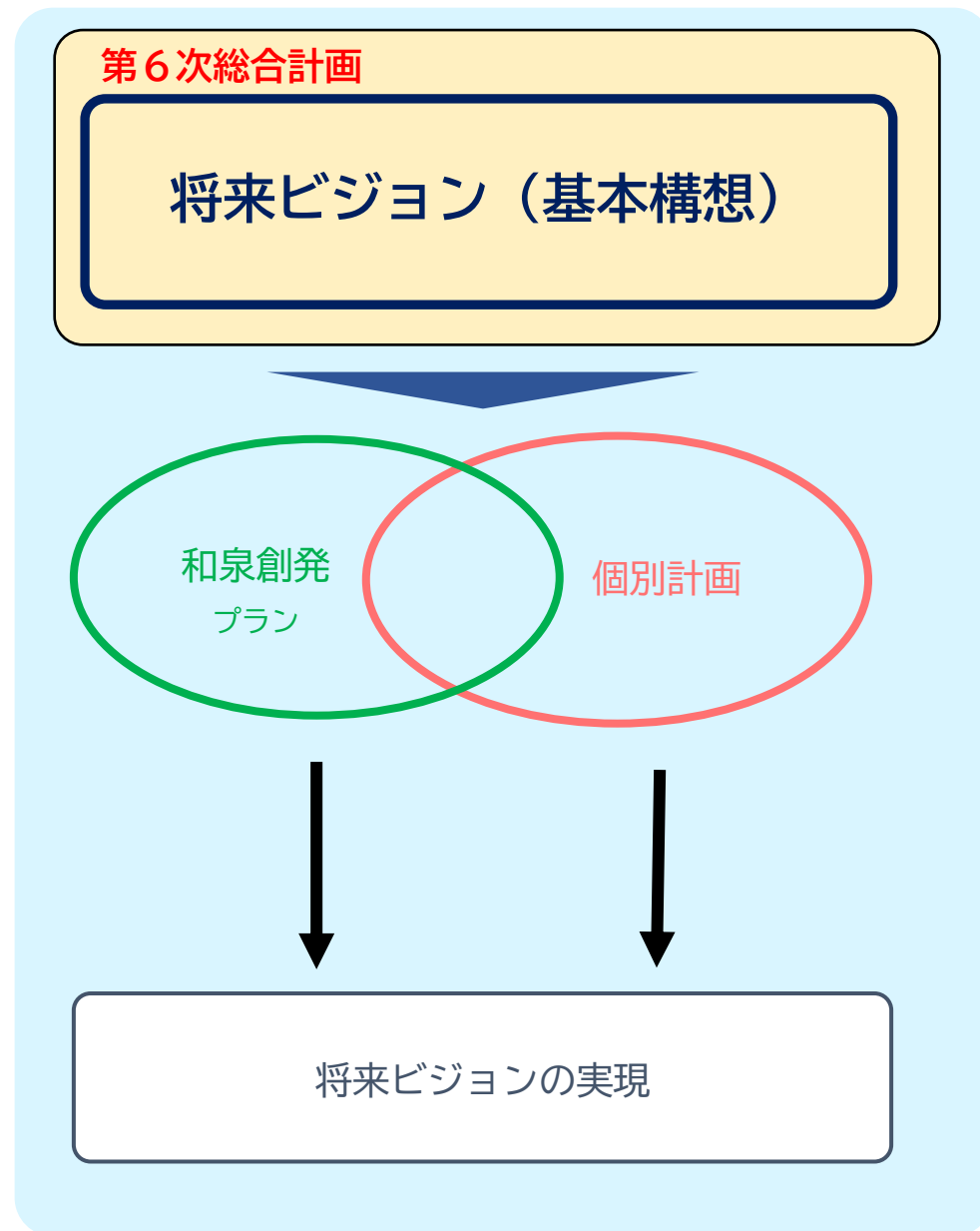
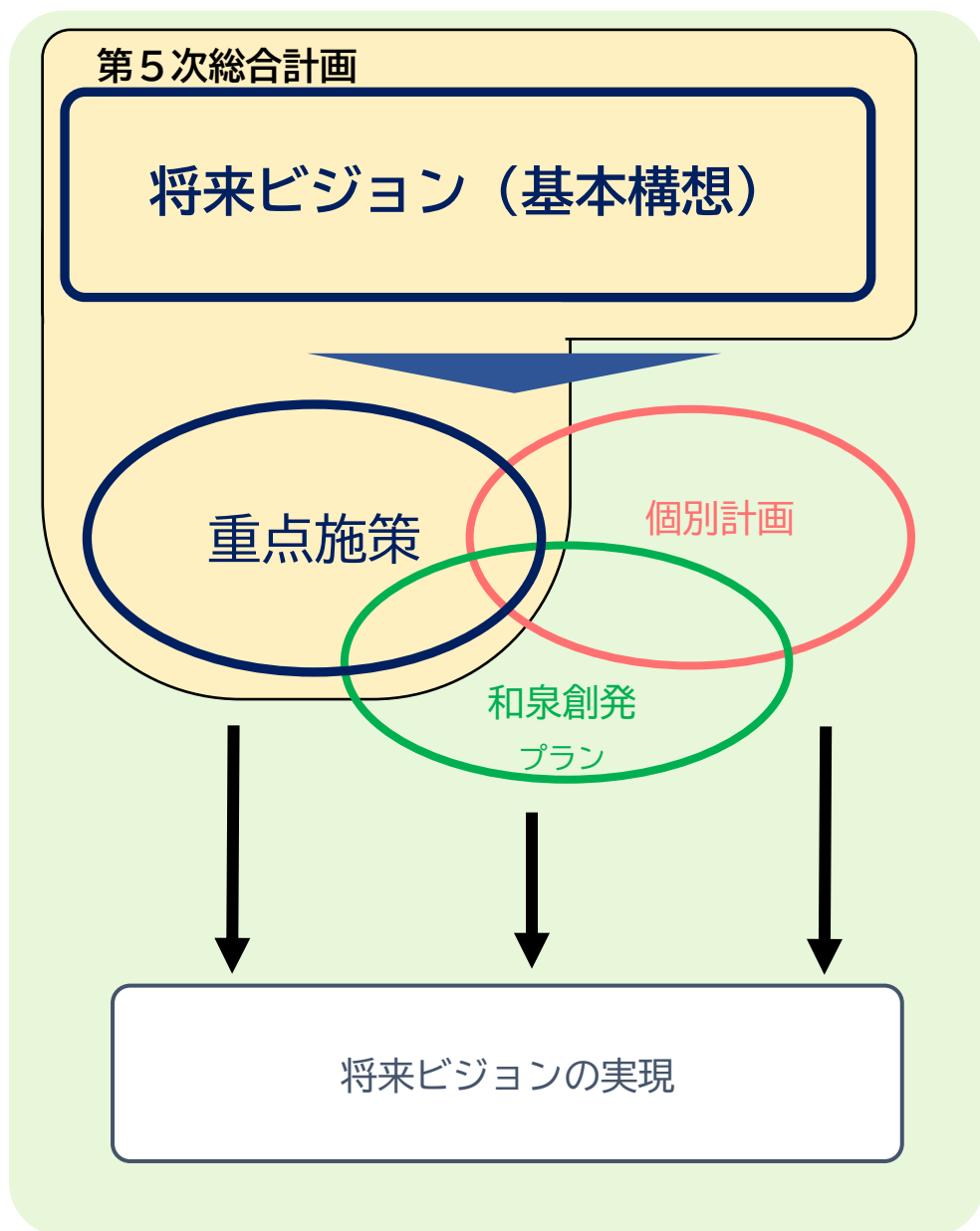
外部意見聴取について

項目	質問・意見	回答
1	コンサルや学識の役割について整理してほしい。	別紙3のとおり共有いたします。
2	次期総合計画についてはどのような進行管理を行うのか。	これまで、総合計画、創発プランのそれぞれで進行管理をしていましたが、進行管理に係る事務も効率化するよう、次期和泉創発プランの達成状況をもとに進行管理を行うなどの手法を検討していきたいと考えます。

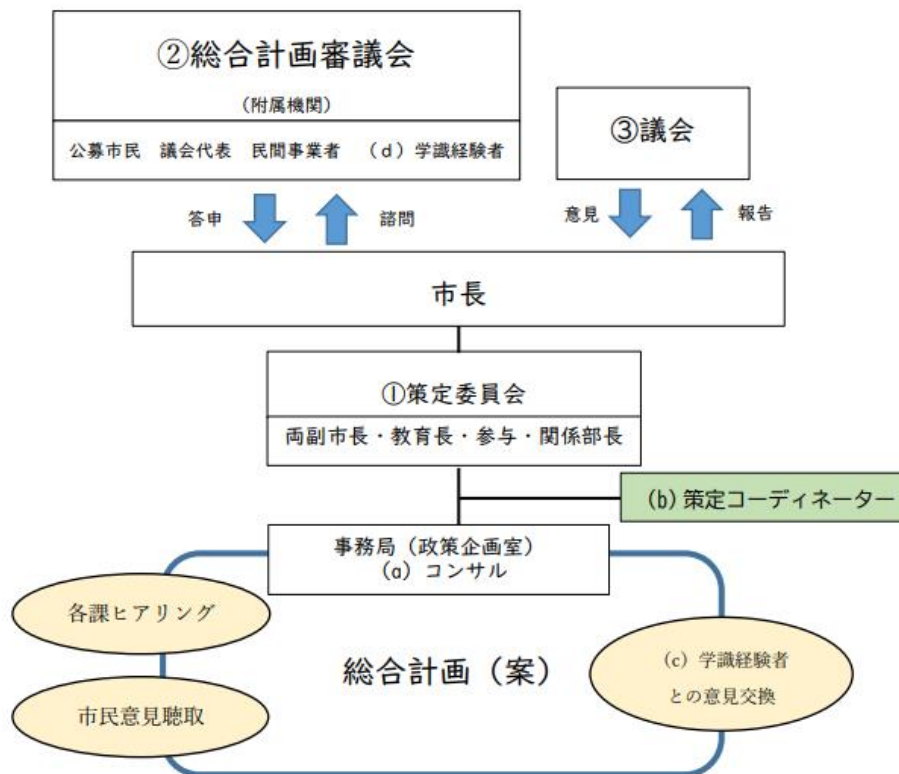
各計画の関係イメージ

第5次総合計画においては、将来ビジョン（基本構想）実現に向けて、重点施策、和泉創発プラン、個別計画にて取組みを展開している。第6次総合計画においては、将来ビジョン（基本構想）実現に向けて、和泉創発プラン、個別計画にて取組みを展開することとし、役割をより明確、簡潔にしたうえでまちづくりを進めるものとする。

別紙2



第6次総合計画策定にかかる体系

(a) コンサル

- ・事務局の事務支援
- ・各課ヒアリングや市民意見聴取、学識経験者との意見交換による意見を集約のうえで、コンサルとしての計画を提案。
その後、計画案をベースに庁内調整等を図り、案を精査していく。

(b) 策定コーディネーター

- ・1名～2名の学識経験者等（例）他市の総合計画策定経験者や広告代理店プロモーション担当者等
- ・策定開始から策定までの間、全体的なとりまとめの視点や、シティープロモーションの視点から総合的なアドバイスを目的とする。

(c) 学識経験者との意見交換

- ・各分野1名～2名の学識経験者
（例）既に審議会委員など和泉市に携わっており、該当分野に専門的知識がある学識経験者等
- ・案の作成前の段階、案の作成の途中の段階で、その該当分野を中心に専門的知見での意見、アドバイスを目的とする。

(d) 総合計画審議会の学識経験者

- ・3名程度（例）地域経済・社会・政策学の大学教授等
- ・最終案（素案）に対して、総合計画審議会において学識経験者の立場で参加し、意見を求める。